

『出前なんでも講座メニュー表』

1. 歴史・文化・ぐんまの魅力

※新規の講座は左に（新）と表示しています。

講座区分	番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
				一般	子ども	高齢者			
1	1	群馬の遺跡・埋蔵文化財	埋蔵文化財の保護について、群馬県内で行われている発掘調査の話題を中心に、わかりやすくお話しします。	○	○	○	60~90	担当職員	文化財保護課 埋蔵文化財係 Tel 027-226-4696 Fax 027-243-7785 bunkaho@pref.gunma.lg.jp
1	2	群馬の文化財（県内の国・県指定文化財の紹介）	ふるさと群馬の歴史・文化・自然を物語る、国・県指定文化財等について紹介します。	○	○	○	60~90		
1	3	世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」	「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値について説明します。	○	○	○	60	担当職員	世界遺産センター Tel 0274-67-7821 Fax 0274-67-7822 sekaiisan@pref.gunma.lg.jp
1	4	歌人 土屋文明について	短歌結社アララギの中核を担い、昭和61年、文化勲章を受章した群馬県名誉県民の文明の作品と生涯について紹介します。	○	○	○	45~60	学芸係職員	土屋文明記念文学館 Tel 027-373-7721 Fax 027-373-7725 tsuchiyakan@pref.gunma.lg.jp
1	5	群馬の詩人について	明治17年、西群馬郡棟高村（現高崎市）に生まれた山村暮鳥と、明治20年、碓氷郡西上磯部村（現安中市）に生まれた大手拓次を中心に、群馬の詩人の作品と生涯を紹介します。	○	○	○	45~60		
1	6	群馬の俳人について	俳人・高浜虚子に高く評価され、『ホトトギス』における代表的俳人として活躍した村上鬼城、前橋の最善寺を拠点に俳人、画家、文筆家として多くの作品を残した松野自得について紹介します。	○	○	○	45~60		
1	7	古墳大国・群馬について	東日本最大の古墳大国であり、国内有数の埴輪生産地であった群馬の古墳時代について、わかりやすく説明します。	○	○	○	30	担当職員	歴史博物館 学芸係 Tel 027-346-5522 Fax 027-346-5534 rekishikan@pref.gunma.lg.jp
1	8	尾瀬に親しむ県民講座	尾瀬の自然とその保全のための取り組みなどを説明します。	○	○	○	45~90	担当職員 （自然解説員）	自然環境課 尾瀬保全推進室 企画推進係 Tel 027-226-2881 Fax 027-220-4421 kanshizen@pref.gunma.lg.jp
1	9	世界かんがい施設遺産 天狗岩用水	世界かんがい施設遺産に登録された天狗岩用水の開削の歴史やその役割などについて説明します。	○	○	○	30~45	担当職員	中部農業事務所 農村整備課 Tel 027-233-0501 Fax 027-223-0348 chuunou-seibi@pref.gunma.lg.jp
1	10	県で育成したイチゴ品種	県で育成したイチゴ品種「やよいひめ」、「おざあかりん」の特性について説明します。	○			60	担当職員	農業技術センター 野菜第一係 Tel 0270-62-1021 Fax 0270-62-2297 nogisen@pref.gunma.lg.jp
1	11	群馬オリジナル蚕品種と蚕種製造について	群馬オリジナル蚕品種の育成経過と蚕種製造について説明します。	○	○	○	40~60	担当職員	蚕糸技術センター 技術支援係 Tel 027-251-5145 Fax 027-251-5147 sanshigise@pref.gunma.lg.jp
1	12	群馬県のブランド魚について	水産試験場で開発した最高級ニジマス『ギンヒカリ』や遊漁用ニジマス『ハコステ』の特徴等について説明します。	○	○	○	30	担当職員	水産試験場 川場養魚センター Tel 0278-52-2007 Fax 0278-52-2097 suisshi@pref.gunma.lg.jp
1	13	群馬の観光について	群馬県の観光の展望／県の取り組みについて説明します。	○			30~45	担当職員	観光魅力創出課 観光政策係 Tel 027-226-3381 Fax 027-223-1197 kankouka@pref.gunma.lg.jp
1	14	県民の読書活動の推進について	読書活動の推進について「群馬県民の読書活動の推進に関する条例」や令和2年から実施の「群馬県読書活動推進計画」に基づき説明します。	○	○	○	30~60	担当職員	生涯学習課 企画振興係 Tel 027-226-4662 Fax 027-224-8780 kigakushu@pref.gunma.lg.jp
1	15	ぐんまのロケ誘致推進	ぐんまフィルムコミッションの役割や、近年の群馬県内で撮影した映画やドラマ、テレビ番組などのロケ誘致状況を説明します。	○			30~60	担当職員	eスポーツ・クリエイティブ推進課 映像制作サポート係 Tel 027-898-3695 Fax 027-223-1197 supokuri@pref.gunma.lg.jp

2. 保健・医療・福祉

※各保健福祉事務所の連絡先は「連絡先」シートをご覧ください。
※新規の講座は左に（新）と表示しています。

講座区分	番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
				一般	子ども	高齢者			
2	1	学生向けライフデザインセミナー	高校生～大学生等を対象に、前半では、群馬県の少子化の現状やその要因、今後の見通しなどについて説明します。後半では、これからの人生設計を考えるための、簡単なワークを行います。	○			60 (応相談)	担当職員	生活こども課 政策推進室 少子化対策係 Tel 027-226-2392 Fax 027-226-2100 kodomo-mirai@pref.gunma.lg.jp

(新)

2	2	こどもまんなか社会の実現に向けた取組について	県が行うこどもまんなか社会の実現に向けた取組の概要について説明します。 参加者の意見を聴くパートなども設けた参加型の講義になります。	○	○	○	30~45	担当職員	生活こども課 政策推進室 こども未来戦略係 Tel 027-898-3644 Fax 027-226-2100 kodomo-mirai2@pref.gunma.lg.jp
2	3	児童虐待防止について	児童虐待の現状・発見した場合の対応・予防と地域の取り組みについて説明します。	○			40	担当職員	児童福祉課 家庭福祉係 Tel 027-226-2628 Fax 027-226-2100 jidouka@pref.gunma.lg.jp 各児童相談所(※)
2	4	里親制度について	様々な事情により家庭で生活することができない子どもたちを自らの家庭で養育する里親制度の概要や地域における里親支援の必要性について説明します。	○			30~60	担当職員	児童福祉課 ひとり親家庭支援係 Tel 027-226-2624 Fax 027-226-2100 jidouka@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所(※)
2	5	ひとり親家庭の支援制度について	ひとり親(母子・父子)家庭等への支援制度について説明します。	○			30~60	担当職員	児童福祉課 ひとり親家庭支援係 Tel 027-226-2624 Fax 027-226-2100 jidouka@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所(※)
2	6	児童自立支援施設とは	児童自立支援施設における実践について紹介します。	○			60	指導担当係長	ぐんま学園 総務企画係 Tel 027-231-2554 Fax 027-231-2548 gungaku@pref.gunma.lg.jp
2	7	生活困窮者自立支援制度について	生活困窮者自立支援制度の概要について説明します。	○			30	担当職員	地域福祉課 保護係 Tel 027-226-2521 Fax 027-221-1121 kenkoufuku@pref.gunma.lg.jp
2	8	生活保護制度について	生活保護制度の概要について説明します。	○			30	担当職員	地域福祉課 保護係 Tel 027-226-2521 Fax 027-221-1121 kenkoufuku@pref.gunma.lg.jp
2	9	感染症予防について	インフルエンザやノロウイルス、新型コロナウイルス感染症などの感染症に関する一般的な説明(感染経路、正しい手洗い等の予防方法など)をします。	○	○	○	60~90	担当職員	感染症・疾病対策課 感染症危機管理室 Tel 027-226-3316 Fax 027-223-7950 kansen@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所(※)
2	10	食中毒原因物質の検査方法について	食中毒の原因となる微生物(細菌・ウイルス等)の検出方法に関する説明をします。	○			40	担当職員	衛生環境研究所 保健科学係・研究企画係 Tel 027-232-4881 Fax 027-234-8438 eikanken@pref.gunma.lg.jp
2	11	感染症発生動向調査について	県で実施している感染症発生動向調査について説明します。	○			60	担当職員	衛生環境研究所 感染制御係 TEL 027-232-4881 FAX 027-234-8438 eikanken@pref.gunma.lg.jp
2	12	社会福祉法人等の指導監査について	社会福祉法人、社会福祉施設、児童福祉施設、介護保険事業所及び障害サービス事業所等の指導監査の実施状況について説明します。	○			30~60	担当職員	監査指導課 Tel 027-226-2551 Fax 027-243-6333 kansashido@pref.gunma.lg.jp
2	13	群馬の温泉について	温泉の湧出の仕組み、泉質、入浴の仕方などをお話しします。 (※申し込み前に事前に担当課に御連絡ください。) (※パワーポイントが使えるパソコン、プロジェクター、スクリーンの準備をお願いします。)	○	○	○	60	担当職員	薬務課 温泉係 Tel 027-226-2666 Fax 027-223-7872 yakumuka@pref.gunma.lg.jp
2	14	第9次群馬県保健医療計画について	良質かつ適切な医療を安心して受けられる体制を構築するため、第9次群馬県保健医療計画を策定しました(令和6年度施行)。疾病・事業ごとの医療連携体制の構築や地域医療構想など、第9次計画の内容について説明します。	○		○	30	担当職員	医務課 医療計画係 Tel 027-226-2535 Fax 027-223-0531 imuka@pref.gunma.lg.jp
2	15	看護職員の免許取得方法	看護職(保健師、助産師、看護師、准看護師)を目指す方へ、県内の学校養成所の紹介及び活動の場について説明します。	○			30	担当職員	医務課 看護係 Tel 027-226-2538 Fax 027-223-0531 imuka@pref.gunma.lg.jp
2	16	今、なぜ医師が足りないのか?	医師不足の原因、県内の現状、医師確保に関する県の取組などを分かりやすく解説します。	○			30~60	担当職員	医務課 医師確保対策室 医師確保対策係 Tel 027-226-2540 Fax 027-223-0531 imuka@pref.gunma.lg.jp
2	17	介護保険制度について	介護保険の利用の仕方を含め、制度全般について説明します。	○		○	30~60	担当職員	介護高齢課 企画・介護保険係 Tel 027-226-2562 Fax 027-223-6725 kaigokou@pref.gunma.lg.jp

2	18	介護サービス情報の公表制度について	県内のどこにどのような介護保険事業所があるかの情報を提供する「介護サービス情報の公表」制度について説明します。	○	○	60	担当職員	介護高齢課 居宅サービス係 Tel 027-226-2574 Fax 027-223-6725 kaigokou@pref.gunma.lg.jp	
2	19	介護人材確保対策について	県内の介護人材の現状や県が行う介護人材確保対策の概要について説明します。	○	○	30~60	担当職員	地域福祉課 福祉人材確保対策室 人材確保係 Tel 027-226-2565 Fax 027-221-1121 kaigo-kakuho@pref.gunma.lg.jp	
2	20	地域包括ケアについて	地域包括ケアの概要や、県の取組、今後の方向性などについて説明します。	○	○	45	担当職員	健康福祉課 医療・福祉連携推進室 医療・福祉連携推進係 Tel 027-898-2655 Fax 027-243-2670 houkatsukea@pref.gunma.lg.jp	
2	21	生涯にわたる食育について	県が策定した食育推進計画の内容や本県の食育推進の取組について説明します。また、生涯にわたり食育を続けるために、子どもから高齢者までライフステージに応じた食育についてお話しします。(食育教材の活用も含まれます)	○	○	60	担当職員	健康長寿社会づくり推進課 食育推進係 Tel 027-226-2427 Fax 027-243-2044 chouju@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所(※)	
2	22	たばこの健康被害について	喫煙による心身への悪影響や、受動喫煙による健康被害、改正健康増進法の概要等について説明します。※市町村が開催する研修等は対象外です。	○	○	30~40			
2	23	県健康増進計画について	県が策定した健康増進計画の内容について説明します。また、県民の健康寿命を延伸するために、ぐんま健康ポイント県民運動や、食生活や運動習慣など一人ひとりに適したより良い生活習慣の実践事項「ぐんま元気(GENKI)の5か条」についてお話しします。※市町村が開催する研修等は対象外です。	○	○	30~40	担当職員	健康長寿社会づくり推進課 健康増進係 Tel 027-226-2602 Fax 027-243-2044 chouju@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所(※) *健康長寿社会づくり推進課職員が説明者となる場合は、WEB(オンライン)開催をお願いする場合があります。	
2	24	オーラルフレイルとその予防について	オーラルフレイルは、お口の機能が低下し、食べる機能の障がいなどに対して、警鐘を鳴らした概念です。そんなオーラルフレイルについて、予防の仕方も含めてお話しします。※市町村が開催する研修等は対象外です。	○	○	30~60	保健福祉事務所 担当職員(歯科衛生士)	健康長寿社会づくり推進課 健康増進係 Tel 027-226-2602 Fax 027-243-2044 chouju@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所(※)	
2	25	お口のケア・管理について	むし歯、歯周病、誤嚥性肺炎の予防など、自己管理の方法のコツを、色々な視点から実技も交えてお話しします。※市町村が開催する研修等は対象外です。	○	○	30~60			
(新)	2	26	子宮頸がん予防について	女性にとって子宮頸がんは決して他人事ではありません。子宮頸がんを予防するために大切なHPVワクチンやがん検診などについて、正しい知識をお話しします。	○	○	30~60	担当職員	<子宮頸がん全般・がん検診> 健康長寿社会づくり推進課 がん対策推進係 Tel 027-226-2619 Fax 027-243-2044 chouju@pref.gunma.lg.jp <HPVワクチン> 感染症・疾病対策課 感染症危機管理室 Tel 027-226-2615 Fax 027-223-7950 kansen@pref.gunma.lg.jp
2	27	ハンセン病について	ハンセン病の歴史やハンセン病問題の現状、重監房資料館について説明します。	○	○	30	担当職員	感染症・疾病対策課 疾病対策係 Tel 027-226-2601 Fax 027-223-7950 kansen@pref.gunma.lg.jp	
2	28	熱中症対策について	熱中症の症状と対処・予防方法、熱中症の動向などについて説明します。	○	○	30~60			
2	29	エイズの予防について	エイズの現状や動向、エイズに関する正しい知識、予防などについて説明します。	○	○	30~60	担当職員	感染症・疾病対策課 疾病対策係 Tel 027-226-2608 Fax 027-223-7950 kansen@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所(※)	
2	30	肝炎対策について	肝炎の感染対策、肝炎治療費等助成制度全般について説明します。	○	○	30			
2	31	結核対策について	高齢者施設等の結核対策、結核及び結核予防の基礎、定期健診の必要性、早期受診の勧め、正しい結核の知識、結核の動向などについて説明します。	○	○	60~90			
2	32	がん対策について	がんの現状、がんに対する正しい知識、予防、検診等についてわかりやすくお話しします。	○	○	30	担当職員	健康長寿社会づくり推進課 がん対策推進係 Tel 027-226-2619 Fax 027-243-2044 chouju@pref.gunma.lg.jp	
2	33	障害のある人への理解の促進と差別の解消の推進について	障害の特性や障害のある人への配慮について説明するとともに、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律及び県条例について説明します。	○	○	30~60		障害政策課 社会参加推進係 Tel 027-226-2604	

2	34	人にやさしい福祉のまちづくりについて	人にやさしい福祉のまちづくりを進めるための事業（誰もが利用しやすい施設の整備や思いやり駐車場利用証制度）などについて説明します。	○	○	○	30～60	担当職員	TEL 027-226-2634 Fax 027-224-4776 shougai@pref.gunma.lg.jp	
2	35	障害者総合支援法の概要について	障害者総合支援法の概要について説明します。	○			30～60	担当職員	障害政策課 支援調整係 Tel 027-226-2636 Fax 027-224-4776 shougai@pref.gunma.lg.jp	
2	36	地域における精神保健福祉対策について	地域における精神保健福祉をどのように展開するかその概要を説明します。	○			60	担当職員	障害政策課 精神保健室 精神保健・発達支援係 Tel 027-898-2648 Fax 027-224-4776 shougai@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所（※） こころの健康センター（※）	
2	37	身体障害者手帳・補装具について	身体障害者手帳及び身体障害者手帳を交付されている方が利用できる補装具（補聴器や車椅子等）について説明します。	○			60～90	担当職員	心身障害者福祉センター 身体障害係 Tel 027-254-1010 Fax 027-254-2299 shinshinsen@pref.gunma.lg.jp	
2	38	発達障害について	発達障害の基本的な理解や支援について説明します。	○			30～60	担当職員	発達障害者支援センター TEL 027-254-5380 FAX 027-254-5383 hatsutatsuse@pref.gunma.lg.jp	
2	39	知的障害と自閉症（自閉スペクトラム症）について	知的障害や自閉症（自閉スペクトラム症）に関する正しい知識を伝えるとともに、子どもの日常生活面の対応について説明します。	○			60	担当職員	しらがね学園 発達支援係 Tel 027-268-6011 Fax 027-230-3300 shirogane@pref.gunma.lg.jp	
2	40	知的障害児への専門療育について	知的障害、自閉症（自閉スペクトラム症）等に対する専門療育（音楽療法・感覚統合法・動作法等）についての理論と実践について説明します。	○			60			
2	41	「支援計画」の作り方について	子どもの障害特性に合わせた「支援計画」の作り方について説明します。	○			60			
2	42	強度行動障害のある子どもの理解について	強度行動障害のある子どもに対する基本的な理解や支援について説明します。	○			60			
2	43	自殺対策におけるゲートキーパーについて	ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。群馬県版ゲートキーパー手帳を使って、大切な命を守るために、できることを一緒に考えます。	○			60	担当職員	こころの健康センター 企画研修係 Tel 027-263-1166 Fax 027-261-9912 kokoro@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所（※）	
2	44	自殺対策について	自殺の現状や課題、自殺に関する正しい知識、県の取り組みなどわかりやすくお話しします。	○			30～60			
2	45	アルコール依存～正しい対応方法とは～	アルコール依存症とは何か？ 基本的な理解、対応の仕方、さらには断酒や節酒の考え方についてわかりやすくお話しします。	○	○		60	担当職員	こころの健康センター 相談援助第一係 Tel 027-263-1166 Fax 027-261-9912 kokoro@pref.gunma.lg.jp	
2	46	ギャンブル依存ってなに？	今やインターネットからでもギャンブルが安易にできる時代です。ギャンブル依存の現状やギャンブル依存症の対応方法をわかりやすくお話しします。	○			60			
2	47	薬物依存とは処方薬・市販薬でも依存になるの？	薬物依存は、もはや大麻や覚醒剤ではありません。最近SNSの普及や誤った情報による使用により、処方薬や市販薬依存になることもあります。薬物依存の現状や正しい対応方法についてお話しします。	○			60			
2	48	ゲーム依存・ネット依存の対応方法について	現在は誰でもインターネットを使用する時代です。インターネットなくしては生活できません。人間関係や学校関係といった背景から、ゲームにはまることもあります。ゲーム依存についての基本的な理解、家族が依存になってしまったときの対応方法や相談窓口についてお話しします。	○	○		60			
2	49	ひきこもりについて	ひきこもりについての正しい知識と、対応について説明します。	○			30～60	担当職員	こころの健康センター 相談援助第二係 Tel 027-263-1166 Fax 027-261-9912 kokoro@pref.gunma.lg.jp	
2	50	お薬何でも相談について	医薬品等に関する正しい知識（使用方法・副作用等）を伝えるとともに、日頃の疑問や相談に応じます。	○		○	60	担当職員	薬務課 薬事・血液係 Tel 027-226-2663 Fax 027-223-7872 yakumuka@pref.gunma.lg.jp	
2	51	骨髄バンクについて	急性白血病や再生不良性貧血の患者さんを救う有効な治療法である骨髄移植を推進するための骨髄バンク事業の概要について説明します。 （※子どもについては高校生が対象となります。）	○	○	○	30～60			
2	52	血液・献血のこと	献血の種類・有用性、献血された血液がどのように患者さんに届けられるかなどについて説明します。	○	○	○	30～60			
2	53	ジェネリック医薬品について	ジェネリック医薬品の効果、副作用の可能性、安全性や先発医薬品との違いについて説明します。	○		○	30～60			
(新)	2	54	薬局の認定制度について	患者さん自身に適した薬局を選択できるよう、特定の機能を有する「地域連携薬局」などの薬局の認定制度について説明します。	○		○	30～60	担当職員	

(新)

2	55	電子処方箋について	電子処方箋についてのメリットや利用方法について説明します。	○	○	30~60	担当職員	
2	56	無承認医薬品について	医薬品成分を含む不正な食品について、医薬品との違いの面から説明します。	○	○	30~60	担当職員	薬務課 審査・監視係 Tel 027-897-2669 Fax 027-223-7872 yakumuka@pref.gunma.lg.jp
2	57	医療用麻薬の取扱いについて	麻薬関連法令の概要、医療用麻薬の取扱い・管理方法等について、具体的な事例等を交えて分かりやすく説明します。参加人数によっては、対話形式での質疑応答なども可能です。	○		30~90	麻薬取締員 (薬務課職員) または担当職員 等	薬務課 麻薬・危険薬物係 Tel 027-226-2665 Fax 027-223-7872 yakumuka@pref.gunma.lg.jp
2	58	薬物乱用防止について	薬物乱用の状況、乱用薬物の理解、健康への弊害等薬物乱用防止のための対策・取り組みについてお話しします。	○	○	30~90	担当職員	薬務課 麻薬・危険薬物係 Tel 027-226-2665 Fax 027-223-7872 yakumuka@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所(※)
2	59	国民健康保険について	国民健康保険制度のしくみと保険給付の内容について説明します。	○	○	30	担当職員	国保医療課 国保・高齢者医療係 Tel 027-226-2672 Fax 027-223-3864 kokuhoka@pref.gunma.lg.jp
2	60	後期高齢者医療制度について	後期高齢者医療制度の概要について説明します。	○	○	30		
2	61	子ども、重度心身障害者等の医療費助成制度について	子どもや重度心身障害者、母子家庭等に対する保険医療費一部負担金助成制度について説明します。	○		30	担当職員	国保医療課 保険・福祉医療係 Tel 027-226-2676 Fax 027-223-3864 kokuhoka@pref.gunma.lg.jp
2	62	正しく知ろう「がん」のこと	がんの予防、早期発見、最新治療について説明します。	○	○	60~90	院長ほか各科医師	がんセンター 事務局 Tel 0276-38-0771 Fax 0276-38-0614 gansenta@pref.gunma.lg.jp
2	63	赤ちゃんを母乳で育てよう	母乳育児の利点、母乳育児のコツについてお話しします。	○		60~90	新生児科医師 丸山 憲一	小児医療センター 事務局総務課 Tel 0279-52-3551 Fax 0279-52-2045 syouni@pref.gunma.lg.jp
2	64	小さく生まれた赤ちゃん	新生児医療の現状や未熟児で生まれた赤ちゃんを育てる上で気をつけるべきことについてお話しします。	○		60~90		
2	65	子どもの居場所づくりについて	子ども食堂や無料学習塾など、子どもが地域の人と関わりながら安心して過ごせる「子どもの居場所」づくりについて説明します。	○		30~60	担当職員	こども・子育て支援課 子育て支援係 Tel 027-226-2622 Fax 027-226-2100 kosodateka@pref.gunma.lg.jp
2	66	HACCPについて	HACCPに沿った食品衛生管理について説明します。	○		60~90	担当職員	食品・生活衛生課 食品衛生係 Tel 027-226-2452 Fax 027-243-3426 shokuseika@pref.gunma.lg.jp
2	67	動物のトラブル防止！～犬編～	犬の適切な飼い方や、犬の飼い主として行わなければならないことを解説します。また、ご近所トラブルを避けるために気をつける点や、新しく犬を迎えるにあたって考えて欲しいことを紹介します。	○	○	60~90	担当職員	食品・生活衛生課 動物愛護・共生推進係 Tel 027-226-2442 Fax 027-220-4300 shokuseika@pref.gunma.lg.jp 動物愛護センター(※)
2	68	動物のトラブル防止！～猫編～	ご近所の方とトラブルを起こさないための、適切な猫の飼い方を紹介します。また、新しく猫を迎えるにあたって考えて欲しいことを紹介します。ほか、飼い主のいない猫の対策について解説します。	○	○	60~90		
2	69	犬猫の出張譲渡前講習会	ペットの存在は精神的な支えとなり、散歩などの世話で規則正しい生活を送ることで健康維持につながります。シニア世代でペットを迎え入れる際の注意点を解説します。	○	○	60~90		
2	70	シニア犬猫との安らぎ生活のすすめ	シニア犬猫は、一般のご家庭はもちろん、シニア世代にも大変おすすです。子犬子猫とはまた違った、沢山の魅力について解説します。	○	○	30		
2	71	シニア世代のペットの迎え方	ペットの存在は精神的な支えとなり、散歩などの世話で規則正しい生活を送ることで健康維持につながります。シニア世代でペットを迎え入れる際の注意点を解説します。	○		60~90		
2	72	水道水について	生活に欠かすことのできない水について説明します。	○	○	30~60	担当職員	食品・生活衛生課 水道係 Tel 027-226-2446 Fax 027-220-4300 shokuseika@pref.gunma.lg.jp 各保健福祉事務所(※)
2	73	食中毒予防について	食品衛生、食中毒予防について説明します。	○	○	60~90	担当職員	食品・生活衛生課 食品安全推進室 安全推進・表示対策係 Tel 027-226-2424 Fax 027-243-3426 shokuseika@pref.gunma.lg.jp
2	74	くらしの中の食品表示	食品表示制度のしくみや、食品表示ラベルについて説明します。	○	○	60~90		
2	75	食品安全行政について	令和2年3月に策定した「群馬県食品安全基本計画2020-2024」の概要について説明します。	○	○	60		
2	76	農産物の安全性について	消費者向けに農産物に係る農薬や放射性物質の安全性についてお話しします。	○	○	30~60		

2	77	食品の安全検査について	どのように食品の安全検査(食品添加物やアレルゲンなど)が行われているかお話しします。	○	○	○	45~60	担当職員	食品安全検査センター Tel 027-234-5256 Fax 027-234-8438 shokukensa@pref.gunma.lg.jp
---	----	-------------	--	---	---	---	-------	------	---

3.暮らし・食品・防災

講座区分	番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
				一般	子ども	高齢者			
3	1	群馬県のNPO・ボランティアについて	NPO・ボランティア、市民活動について説明します。主な内容は、災害ボランティア活動、NPOと行政、企業等との協働、NPO法人として必要な手続き等です。	○	○	○	60~90	担当職員	県民活動支援・広聴課 NPO・県民活動推進係 Tel 027-226-2291 Fax 027-223-2944 npo@pref.gunma.lg.jp
3	2	消費者行政について	県の消費者施策や取り組み/群馬県消費生活条例/「第三次群馬県消費者基本計画」/消費者安全確保地域協議会について説明します。	○			30~60	担当職員	消費生活課 企画指導係 Tel 027-226-2274 Fax 027-223-8100 shouhika@pref.gunma.lg.jp
3	3	訪問販売などのルールについて	訪問販売や電話勧誘販売などの基本的なルールについて説明します。	○		○	60~90		
3	4	「エシカル消費」のススメ(私たち消費者ができること)	私たちの暮らしが、人や社会、地域、環境にどのような影響を与えているかを考え、持続可能な社会に向けた消費行動「エシカル(倫理的な)消費」について説明します。	○	○	○	45~60	担当職員	消費生活課(消費生活センター) 消費者支援・防犯係 Tel 027-226-2281 Fax 027-223-8100 shouhika@pref.gunma.lg.jp
3	5	消費者トラブルの防止	契約のしくみ/悪質商法の手口とその対処法/年齢層別の消費者トラブルの実例紹介/消費生活センターの案内/多重債務(借金)問題などについて説明します。	○	○	○	45~60		
3	6	身近な製品の事故に注意しましょう!	家電製品など、生活の身近にある製品の安全確保のしくみを説明するとともに、製品に関係した事故について実例を交えて解説することで、安全な製品の選び方・使い方など、その被害を防ぐ方法を学びます。	○	○	○	45~60	担当職員	消費生活課 消費者支援・防犯係 Tel 027-226-2356 Fax 027-223-8100 shouhika@pref.gunma.lg.jp
3	7	子ども向けの防犯講座	保育園、幼稚園、小学校、放課後児童クラブ等の子どもを対象に、犯罪に巻き込まれないためにはどうすればいいかを説明します。紙芝居、実演など年齢に合わせたプログラムで楽しみながら、子ども自身の危険回避能力を高めます。実施希望日の1ヵ月前までにお申し込みください。		○		30~60		
3	8	地域安全マップ(防犯用)をつくらう!	「入りやすい」「見えにくい」をキーワードに、地域の犯罪の起こりそうな場所を発見し地図にまとめることで、子どもの危険回避能力を高めます。主に小4~6年向けです。実施希望日の1ヵ月前までにお申し込みください。			○	60~240		
3	9	子どもの安全を守るための防犯対策について	「入りやすい」「見えにくい」をキーワードに、地域の危険な場所を見分ける方法や、性被害防止のための「プライベートゾーン」の話などを通して、犯罪から子どもを守るための防犯対策について解説します。実施希望日の1ヵ月前までにお申し込みください。	○			60		
3	10	犯罪被害者等支援について	犯罪被害者等の現状、課題及びその支援施策/性暴力被害者の現状、課題及びその支援施策について説明します。	○			30~60	担当職員	生活こども課 人権和係 Tel 027-226-2906 Fax 027-226-2100 seikatsuka@pref.gunma.lg.jp
3	11	男女共同参画について	男女共同参画とは/男女共同参画の現状(国際比較、国内の参画状況、群馬県の参画状況)/群馬県の取組について説明します。	○			60~90	担当職員	生活こども課 男女共同参画室 男女共同参画係 Tel 027-226-2902 Fax 027-226-2100 seikatsuka@pref.gunma.lg.jp
3	12	ぐんまDV対策推進計画及び困難な問題を抱える女性への支援計画について	「第5次ぐんまDV対策推進計画及び困難な問題を抱える女性への支援計画」の概要について説明します。	○			45~60		
3	13	DV被害者支援について	DV被害の状況やDV被害者支援の取組について説明します。	○			45~60		
3	14	多文化共生について	群馬県内の外国住民の状況、群馬県における外国人との共生・共創推進のための取組状況について説明します。	○	○	○	60	担当職員	ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 多文化共生係 Tel 027-226-3394 Fax 027-243-3110 gunkurashi@pref.gunma.lg.jp
3	15	やさしい日本語講座	外国人や子ども、高齢者、障害のある人にもわかりやすく配慮した「やさしい日本語」について説明します。わかりやすく伝えるコツを紹介します。	○		○	60~120		
3	16	高齢者の住まいについて	高齢者の住まいについて、現状や各種制度、いろいろな住まい方を説明します。	○		○	60	担当職員	住宅政策課 住宅政策係 Tel 027-897-2888 Fax 027-221-4171 juusei@pref.gunma.lg.jp
3	17	安心・安全な家づくり	住宅を取得するための資金、土地、住宅の性能、契約や法律、完成後の維持管理などについて説明します。	○		○	60		
3	18	空き家、古民家の活用・住みかえ支援について	群馬県内で行っている空き家、古民家の活用及び住みかえ支援について説明します。	○		○	60		

3	19	住まい・まちづくり	県内の住宅の現状と今後の住まい・まちづくりについて説明します。	○	○	60		
3	20	不動産屋に行くときに知っておきたいこと	住宅を買うとき・借りるときの契約上の注意点などについて説明します。	○	○	30~60	担当職員	住宅政策課 宅建業係 Tel 027-226-3525 Fax 027-221-4171 juusei@pref.gunma.lg.jp
3	21	交通安全	交通事故情勢についての説明や、受講対象に合わせた参加・体験・実践型の交通安全教室を行います。	○	○	30	担当職員	道路管理課 交通安全対策室 交通安全係 Tel 027-226-2388 Fax 027-243-7285 kotsuanzen@pref.gunma.lg.jp
3	22	牛乳の話	乳牛の品種と特徴、乳牛の飼養管理と牛の一生、牛乳ができるまで等について説明します。	○	○	30~60	担当職員	畜産試験場 酪農係 Tel 027-288-2222 Fax 027-288-2243 chikushi@pref.gunma.lg.jp
3	23	おいしい牛肉の話	肉牛の品種と特徴、肉牛の飼養管理、おいしい牛肉の秘密(ブランド牛肉)について説明します。	○	○	30~60	担当職員	畜産試験場 肉牛係 Tel 027-288-2222 Fax 027-288-2243 chikushi@pref.gunma.lg.jp
3	24	ぐんまの防災	群馬県の防災体制等取り組みの説明、防災のための心得などを説明します。	○		60	担当職員	危機管理課 危機管理・防災係 Tel 027-226-2244 Fax 027-221-0158 kikikanri@pref.gunma.lg.jp
3	25	「水害」に備えて	近年の水害やハザードマップ、防災情報等の解説、避難行動を整理したマイ・タイムラインの作成など、適切な避難行動に必要な防災知識を説明します。	○	○	30~90	担当職員	河川課 水害対策室 防災係 Tel 027-226-3619 Fax 027-224-1368 kasen-bousai@pref.gunma.lg.jp
3	26	「土砂災害」について	土砂災害の特徴、対策工事を解説します。	○	○	30~60		砂防課 砂防整備係 Tel 027-226-3635 Fax 027-243-1680 sabouka@pref.gunma.lg.jp
3	27	「土砂災害」に備えて	(1) こども向け 近年多発する自然災害の中、こどもの頃からの防災意識の育成と向上が大切です。自然がもたらす恵みや災い、土砂災害の発生の仕組みや対策、土砂災害から身を守る行動、自助・公助の大切さなど、学年や年齢に応じて分かりやすく説明をします。 (2) 一般・高齢者向け 土砂災害からあなたやあなたの大切な方の命を守るために必要である①土砂災害を「知り」②土砂災害に「備え」③「その日そのときに」避難するという、3テーマを中心に分かりやすく説明します。 ※原則、平日の10時~17時まで。	○	※	30~60	担当職員	砂防課 砂防情報係 Tel 027-226-3633 Fax 027-243-1680 sabouka@pref.gunma.lg.jp
3	28	地震にそなえて-わが家の耐震知識-	本県でも発生する可能性のある大規模地震への備えとして、住宅の耐震診断や耐震改修などの耐震知識について説明します。	○	○	60~90	担当職員	建築課 企画指導係 Tel 027-226-3708 Fax 027-221-4171 kenchikuka@pref.gunma.lg.jp
3	29	あなたの周りのブロック塀は安全ですか？ -ブロック塀の自己点検方法について-	身の回りのブロック塀が地震に対して安全かどうか、誰でもできる点検方法を説明します。※ブロック塀をご用意いただければ点検を実演します。	○	○	60	担当職員 など	
3	30	「山地災害」について	山崩れなどの山地災害から県民の暮らしを守る治山事業の役割について説明します。	○	○	30~60	担当職員	森林保全課 治山係 Tel 027-226-3252 Fax 027-223-0463 shinrinho@pref.gunma.lg.jp
3	31	私たちの暮らしと計量器について	私たちの身近にある計量器は、計量法の基準により正しい計量ができるよう精度が確保されています。計量法の趣旨・目的に従い検定所で行っている業務について説明します。	○	○	30~60	担当職員	計量検定所 計量検定係 Tel 027-263-2436 Fax 027-263-3142 keiryu@pref.gunma.lg.jp
3	32	「群馬県虐待から子どもの生命と権利を県民全体で守る条例」について	令和3年4月1日に施行しました「群馬県虐待から子どもの生命と権利を県民全体で守る条例」について、条例の趣旨等について説明します。	○	○	30	担当職員	児童福祉課 家庭福祉係 Tel 027-226-2628 Fax 027-223-6526 jidosei@pref.gunma.lg.jp

4. 教育・学習

講座区分	番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
				一般	子ども	高齢者			
4	1	選挙を体験しよう	将来を担う若い世代の方々(中学生・高校生・大学生等)に、選挙に対する興味・関心を高めてもらうために、模擬投票や選挙クイズなどを実施します。 (※対象:中学生、高校生及び大学生等) (※この講座は市町村課で直接お受けしています。右の所属・連絡先に直接お申し込みください。)	○※	○※		45~90	担当職員	市町村課 選挙・政治団体係 Tel 027-226-2218 Fax 027-243-2205 senkan@pref.gunma.lg.jp
4	2	群馬県立近代美術館の所蔵作品の紹介	近代美術館の主な所蔵作品の紹介と事業の概要についてお話しします。	○	○	○	30~60	学芸員	近代美術館 教育普及係・学芸係 Tel 027-346-5560 Fax 027-346-4064 bijutsu@pref.gunma.lg.jp
4	3	群馬県立館林美術館の楽しみ方	館林美術館の施設、事業の概要、展示作品の説明など利用の楽しみ方を紹介します。	○	○	○	30~60	学芸員	館林美術館 教育普及係・学芸係 Tel 0276-72-8188 Fax 0276-72-8338 tatebi@pref.gunma.lg.jp
4	4	図書館を学ぼう	図書館の役割やサービス、図書館員の仕事についての説明を行います。	○	○	○	60	担当職員	図書館 地域協力係 Tel 027-231-3008 Fax 027-235-4196 kitoshokan@pref.gunma.lg.jp
4	5	ビブリオバトルを体験しよう	ビブリオバトルとは、お気に入りの本を持ち寄り、その本の魅力を紹介し合う知的書評合戦です。このビブリオバトルについて説明を受けた後、実際に体験します。 参加者はおすすめの本を1冊用意してください。 (※子どもは小学校高学年以上が対象)	○	○	○	60~90	担当職員	図書館 地域協力係 Tel 027-231-3008 Fax 027-235-4196 kitoshokan@pref.gunma.lg.jp
4	6	群馬県の歴史・民俗、魅力解説	学芸員が群馬の歴史や民俗の魅力と楽しみ方についてお話しします。	○			30	担当職員	歴史博物館 学芸係 Tel 027-346-5522 Fax 027-346-5534 rekishikan@pref.gunma.lg.jp
4	7	群馬県の絶滅危惧植物について	2022年に改訂された県レッドデータブックとその後のレッドリストの随時改定から群馬県の絶滅危惧種の傾向と減少要因について解説します。	○			60~90	学芸員 大森 威宏	自然史博物館 Tel 0274-60-1200 Fax 0274-60-1250 hukyu@gmnh.pref.gunma.jp
4	8	せきつい動物の進化	背骨のある動物(恐竜を含む)を例として生物の進化について紹介します。 (※内容・時間は要相談、小学校高学年以上向け)	○	○※	○	60~90	学芸員 高菜 祐司	
4	9	群馬に海があった頃	ジョウモウクジラなど新生代を中心に県内の海棲生物化石から当時の環境を紹介します。	○	○	○	60~90	学芸員 木村 敏之	
4	10	動物と人の関係史	動物と人の関わりの歴史、生物の多様性、県レッドデータブック、県内の移入生物の動向も含めて紹介します。	○			30~60	学芸員 姉崎 智子	
4	11	群馬の地質・岩石について	群馬の多様な地質・岩石を、ジオパーク、エコパーク、天然記念物、世界遺産、世界の記憶、STEAM教育、SDGsなどの切り口でお話しします。内容については事前にご相談いただくことも可能です。また、オンラインでの講座もご対応可能です。	○	○	○	30~60	学芸員 菅原 久誠	
4	12	群馬県立土屋文明記念文学館のあらし	土屋文明記念文学館の収蔵資料を中心に、群馬県ゆかりの文学や文学者(土屋文明・山村暮鳥・大手拓次・吉野秀雄・村上鬼城など)について紹介します。	○	○	○	45~60	学芸係職員	土屋文明記念文学館 Tel 027-373-7721 Fax 027-373-7725 tsuchiyan@pref.gunma.lg.jp
4	13	ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング	良好な親子関係を築き、しつけを効果的に行うためのコミュニケーションの具体的方法についてお話しします。保護者・子育て支援等の団体、学校のほか、企業(勤務時間後の従業員向け講座)等の注文もお受けします。	○			45~90	担当職員	児童福祉課 家庭福祉係 Tel 027-226-2628 Fax 027-223-6526 jidosei@pref.gunma.lg.jp 各児童相談所(※)
4	14	ぐんま学園におけるけん玉活動について	けん玉の段・級認定会や大会等について説明します。	○	○	○	60	担当職員	ぐんま学園 総務企画係 Tel 027-231-2554 Fax 027-231-2548 gungaku@pref.gunma.lg.jp
4	15	カイコの飼育と利用	カイコの生態と飼育方法、繭の利用について説明します。	○	○	○	30~60	担当職員	蚕糸特産課 蚕糸特産係 Tel 027-226-3092 Fax 027-221-8681 sanshitoku@pref.gunma.lg.jp
4	16	魚の話 あれこれ	県内に棲む魚の面白い話など、魚に関する“あれこれ”について説明します。 (具体的な内容については相談の上、決定します)	○	○	○	30	担当職員	水産試験場 水産環境係 Tel 027-231-2803 Fax 027-231-2135 suishi@pref.gunma.lg.jp
4	17	アユについて	アユの生態、養殖、放流等アユに関する全般について説明します。	○	○	○	30	担当職員	水産試験場 生産技術係 Tel 027-231-2803 Fax 027-231-2135 suishi@pref.gunma.lg.jp
4	18	サケの一生について	サケの不思議な生態や稚魚の飼育方法、利根川における放流・回帰状況等について説明します。	○	○	○	30		水産試験場 水産環境係 Tel 027-231-2803 Fax 027-231-2135 suishi@pref.gunma.lg.jp

4	19	溪流魚の話	イワナやヤマメ、ニジマスなど冷水性魚類について解説します。(具体的内容については相談の上、決定します)	○	○	○	30	担当職員	水産試験場 川場養魚センター Tel 0278-52-2007 Fax 0278-52-2097 suishi@pref.gunma.lg.jp
4	20	川で学ぼう	川を学習の場とした環境学習の実施や専門家の紹介を行います。(※対象:小学生)	○	○		30~60	担当職員	河川課 河川企画係 Tel 027-226-3617 Fax 027-224-1368 kasenka@pref.gunma.lg.jp
4	21	文書館ってなに?どんなところ?	文書館の概要や利用方法などを説明します。	○			30~60	担当職員	文書館 公文書係 Tel 027-221-2346 Fax 027-221-1628 monjyo@pref.gunma.lg.jp
4	22	「ぐんまの家庭教育応援条例」について	平成28年4月1日に施行しました「ぐんまの家庭教育応援条例」について、条例制定の経緯から条例の趣旨等について説明します。	○	○	○	30	担当職員	生涯学習課 社会教育係 Tel 027-226-4666 Fax 027-224-8780 kigakushu@pref.gunma.lg.jp
4	23	最新の宇宙観	ビッグバン宇宙とは?ブラックホールはあるのか?超新星とはどんな現象か?恒星や惑星の誕生の現場はどのようなものか?など、最新の宇宙観について解説します。また、はるかな宇宙のことを知ろうとする天体観測の方法やそこから得た情報を知識へと構成していく道筋などもお話しします。平日のみ対応できます。(冬期は週末も可)	○	○	○	60~90	担当職員	ぐんま天文台 Tel 0279-70-5300 Fax 0279-70-5544 tenmon@pref.gunma.lg.jp
4	24	冬の星空案内	冬の星座と見頃の天体について解説します。天文台から望遠鏡を持ち込んでの星空観望会もできます。冬期の平日のみ対応できます。	○	○	○	60~90		
4	25	昆虫に関するお話	昆虫の興味深い生態や飼育についてお話しします(例:身近な昆虫の見つけ方・飼育、昆虫の暮らし、雑木林の昆虫についてなど)。但し、繁忙期(4月から10月、土日祝日)、年末年始は除きます。	○	○	○	60	昆虫専門員	ぐんま昆虫の森 Tel 0277-74-6441 Fax 0277-74-6466 konchuu@pref.gunma.lg.jp
4	26	16ミリフィルム映画会	群馬県視聴覚センターが所蔵する16ミリフィルム(アニメ映画、郷土映画等)を鑑賞する映画会を実施します。一般・子供・高齢者、様々な年代に応じた16ミリフィルムを御用意します。DVD、ブルーレイなど、デジタル全盛の世の中ですが、今あえてアナログの「カタカタ…」という16ミリ映写機の動作音、デジタル映像では味わえない温かさなど、16ミリフィルムの魅力に触れられる映画会です。	○	○	○	30~90		
4	27	県の生涯学習支援—ぐんま県民カレッジ—	県民へ様々な生涯学習の場を提供する「ぐんま県民カレッジ」について説明します。	○		○	30	担当職員	生涯学習センター Tel 027-224-5700 Fax 027-221-5000 gllcenter@pref.gunma.lg.jp
4	28	ワクワク子育てトーキング〜ぐんまの親の学びプログラム〜による家庭教育支援	子育て中に誰もが体験するような「困った・どうしよう」をエピソードに、参加者同士で役割演技や話し合いをしながら子育てについて学ぶ体験型の研修会です。子育て中の保護者やこれから親となる世代を対象とした講座に活用できます。役割演技や話し合いの進行役は生涯学習センター職員が行います。		○		60		
4	29	群馬県生涯学習センター少年科学館の楽しみ方	少年科学館の施設(プラネタリウム等)、事業の概要、展示物の説明など利用の楽しみ方を紹介します。	○	○	○	60	少年科学係長	
4	30	木工クラフト体験	身近な木や竹を材料に手作りの玩具等の作り方を紹介します。但し、繁忙期(4月から11月)は要相談。			○	90	担当職員	北毛青少年自然の家 Tel 0279-63-2004 Fax 0279-63-2873 kihokumo@pref.gunma.lg.jp 東毛青少年自然の家 Tel 0277-78-5666 Fax 0277-78-7322 kitoumo@pref.gunma.lg.jp

5. 環境・林業

※各環境森林事務所・森林事務所の連絡先は「連絡先」シートをご覧ください。

※新規の講座は左に(新)と表示しています。

講座区分	番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
				一般	子ども	高齢者			
5	1	群馬県環境白書について	群馬県環境白書の概要について説明します。	○			30	担当職員	環境政策課 調整・DX推進係 Tel 027-226-2815 Fax 027-223-0154 kansaisaku@pref.gunma.lg.jp
5	2	群馬県環境基本計画について	群馬県環境基本計画について説明します。	○			30		
5	3	環境ボランティアについて	環境ボランティアの活動内容や参加方法、環境アドバイザー制度などを説明します。	○		○	30		
5	4	環境にやさしい買い物スタイルについて	レジ袋の削減や簡易包装の励行など、環境になるべく負荷をかけない買い物スタイルについて説明します。	○	○	○	30	担当職員	環境政策課 環境政策係 Tel 027-226-2821 Fax 027-223-0154 kansaisaku@pref.gunma.lg.jp
5	5	環境影響評価(アセスメント)に必要な手続きについて	大規模な開発事業を行う前に事業者が実施する「群馬県環境影響評価条例」の手続きについて説明します。	○			20		
5	6	気候危機や脱炭素について考える	SDGsの17のゴールのうち特に気候変動対策について、基礎知識や地域の脱炭素化促進に向けた取組を説明します。	○			30		
5	7	家庭における温暖化対策について	家計の節約をしながら温暖化対策を実現しよう。再エネ・省エネ・脱炭素につながる将来の豊かな暮らしについて説明します。	○	○	○	30~60		

5	8	動く環境教室「エコムーブ号」体験について	移動環境学習車「エコムーブ号」と環境学習サポーター（講師）が出向き、水、ごみ・リサイクル、温暖化、SDGs等7つテーマを実験や体験活動を交えながら分かりやすく学べます。 （※2テーマまで実施可能） （※動く環境教室「エコムーブ号」は小中学校や環境イベント等で実施しているものです。） （※別途準備に60分、片付けに60分かかります）	○	○	○	50 (1テーマ) ※	環境学習サポーター	環境政策課 環境政策係 環境サポートセンター Tel 027-226-2827 Fax 027-223-0154 ecosusumu@pref.gunma.lg.jp	
5	9	群馬県の再生可能エネルギー等について	太陽光、水力、バイオマスなど群馬県の再生可能エネルギー及び水素の利活用に関する群馬県の取組について説明します。	○	○	○	60	担当職員	グリーンイノベーション推進課 再生可能エネルギー推進室 再生可能エネルギー推進係 Tel 027-898-2752 Fax 027-223-0154 guriibe@pref.gunma.lg.jp	
5	10	グリーンイノベーションの推進について	本県で実施しているグリーンイノベーションの取組について説明します。	○	○	○	30	担当職員	グリーンイノベーション推進課 戦略推進係 Tel 027-226-2817 Fax 027-223-0154 guriibe@pref.gunma.lg.jp	
5	11	公害防止組織の整備について	事業所における公害防止組織（公害防止統括者、公害防止主任管理者、公害防止責任者）の整備について説明します。	○			30	担当職員		
5	12	本県の騒音・振動の現状について	騒音・振動の現状、規制基準等について説明します。	○			30			
5	13	フロン排出抑制法について	法律について説明するとともに、新たに管理者に義務づけられた点検・報告義務について説明します。	○			60			
5	14	悪臭問題	特定悪臭物質や臭気指数について説明します。	○			30			
5	15	工場・事業場排水の水質規制について	水質汚濁防止法及び群馬県の生活環境を保全する条例に基づく工場・事業場排水の水質規制等について説明します。	○			60	担当職員	環境保全課 水質保全係 Tel 027-226-2835 Fax 027-243-7704 kanhozen@pref.gunma.lg.jp	
5	16	水質保全対策	河川等の水質の現状と問題点について説明します。	○	○		60			
5	17	本県の地盤沈下の実態と対策について	地盤沈下の実態、対策について説明します。	○			30			
5	18	マイクロプラスチックって何？	マイクロプラスチックに関する基本的なことや県内の河川水中のマイクロプラスチック調査結果について説明します。	○			30			
5	19	アスベスト規制について	大気汚染防止法に基づく解体等工事に関するアスベスト規制について説明します。	○	○	○	30	担当職員	環境保全課 大気保全係 Tel 027-226-2837 Fax 027-243-7704 kanhozen@pref.gunma.lg.jp	
5	20	大気汚染について	光化学オキシダントやPM2.5などの大気汚染等の環境問題について説明します。	○	○	○	30～60			
5	21	土壌汚染対策法について	法律の概要について説明します。	○			30	担当職員	環境保全課 放射線・土壌環境係 Tel 027-226-2836 Fax 027-243-7704 kanhozen@pref.gunma.lg.jp	
5	22	放射線の基礎と群馬県の放射線対策	放射線および放射能の基礎に関することや、本県における福島第一原発事故以降の放射線対策等について説明します。	○		○	30			
5	23	悪臭に関わる臭気指数測定法について	悪臭の臭気指数測定法について説明します。	○			30	担当職員	衛生環境研究所 水環境・温泉研究センター Tel 027-232-4881 Fax 027-234-8438 eikanken@pref.gunma.lg.jp	
5	24	大気の汚れを調べよう(環境学習)	専用装置を用いて、PM2.5等の大気汚染物質を実際に測定する体験型の環境学習です。大気環境を実感しながらわかりやすく学べます。 （※対象：小学5年生以上、おおむね15～30人）	○	○	※	120×2 日			
5	25	環境放射線を測ってみよう(環境学習)	放射能や放射線の基礎知識を学習しながら、サーベイメータにより身近な環境の放射線を測定する体験型の環境学習です。（※対象：小学5年生以上、おおむね15～30人）	○	○	※	○			90
5	26	水の汚れを計ろう	川や湖の水質の分析方法についての説明と簡単な測定をします。 （※対象：中学生以上） 所要時間は内容によって変わります。	○	○	※	○	30～	担当職員	下水環境課 計画係 Tel 027-226-3687 Fax 027-223-1214 gesui@pref.gunma.lg.jp
5	27	よごれた水どうするの？	下水道の普及と水環境保全についてお話しします。 （※対象：小学生）	○	○	※		45		
5	28	群馬の汚水処理対策について	汚水処理3事業である公共下水道、農業集落排水、浄化槽について説明します。	○	○	○	45	担当職員	下水環境課 計画係 農集排・浄化槽係 Tel 027-226-3687/3689 Fax 027-223-1214 gesui@pref.gunma.lg.jp	

(新)

5	29	きれいな水と下水道	下水道の大切さと水質浄化センターの役割についてお話しします。	○	○	○	45	担当職員	下水道総合事務所 各水質浄化センター管理係 Tel 0270-65-7557 Fax 0270-65-7781 gesujj@pref.gunma.lg.jp
5	30	ごみ処理について	毎日排出されるごみの処理方法、群馬県内のごみ排出量・リサイクル率の現状と改善に向けた取組等について説明します。	○	○	○	30~45	担当職員	廃棄物・リサイクル課 一般廃棄物係 Tel 027-226-2853 Fax 027-223-7293 haikirisaka@pref.gunma.lg.jp
5	31	浄化槽について	浄化槽の維持管理や法定検査について説明します。	○	○	○	30~45		
5	32	食品ロスについて	食品ロスの現状と、削減に向けた県の取組などについて説明します。	○	○	○	20~30	担当職員	
5	33	各種リサイクル法について(家電、容器包装、小型家電、自動車)	法律の概要を説明します。	○	○	○	30~60	担当職員	廃棄物・リサイクル課 リサイクル係 Tel 027-226-2824 Fax 027-223-7292 haikirisaka@pref.gunma.lg.jp
5	34	PCB処理について	有害物質であるポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物に関する法律の概要、処理方法、県の取組等について説明します。	○			30		
5	35	有害なPCBの廃棄について	ポリ塩化ビフェニルを含む電気機器などの適正処理について説明します。	○		○	30~60		
5	36	PCB使用機器の探し方について	施設を管理されている方を対象に、PCB使用機器の使用箇所(見落としやすい場所)の例と確認方法について説明します。	○		○	30~60		
5	37	不用品回収業者に気をつけて	御家庭で不要となった物の適正処理の方法と、不用品回収業者とのトラブル未然防止について説明します。	○		○	30~60		
5	38	プラスチックの資源循環について	プラスチック資源循環促進法、容器包装リサイクル法、プラスチックごみ「ゼロ」に関する県の取組等について説明します。	○	○	○	30~60		
5	39	産業廃棄物対策について	産業廃棄物の現状と課題、法制度、県の取組などについて説明します。	○			60	担当職員	廃棄物・リサイクル課 産業廃棄物係 Tel 027-226-2861 Fax 027-223-7292 haikirisaka@pref.gunma.lg.jp
5	40	産業廃棄物の不法投棄等不適正処理対策について	不法投棄等不適正処理の現状と法規制、県の取組について説明します。	○			30	担当職員	廃棄物・リサイクル課 不法投棄対策第一係 Tel 027-226-2865 Fax 027-223-7292 haikirisaka@pref.gunma.lg.jp
5	41	土砂条例について	土砂等の埋立て等に関する条例の概要と土砂持ち込みの現状について説明します。	○			30		
5	42	生物多様性の保全を考える	生物多様性とは何か、生物の多様性を守ることと私達の暮らしについて説明します。	○	○	○	30~60	担当職員	自然環境課 自然環境係 Tel 027-226-2872 Fax 027-243-7702 kanshizen@pref.gunma.lg.jp
5	43	野生鳥獣について	野生鳥獣と人間生活との関わりについて説明します。	○	○	○	30~60	担当職員	自然環境課 野生動物係 Tel 027-226-2874 Fax 027-243-7702 kanshizen@pref.gunma.lg.jp
5	44	狩猟免許について	狩猟や有害鳥獣捕獲をするにあたって必要となる狩猟免許について、制度の概要、取得までの手続について説明します。	○			30~45		
5	45	尾瀬に親しむ県民講座	尾瀬の自然とその保全のための取組などを説明します。	○	○	○	45~90	担当職員	自然環境課 尾瀬保全推進室 企画推進係 Tel 027-226-2881 Fax 027-220-4421 kanshizen@pref.gunma.lg.jp
5	46	群馬県森林・林業基本計画について	本県の森林・林業の施策に関する基本的な事項を定めた計画について説明します。	○			30~60	担当職員	林政課 政策企画係 Tel 027-226-3930 Fax 027-223-0463 rinseika@pref.gunma.lg.jp
5	47	統計から見た群馬の森林	森林の現状を統計数値から解説します。群馬の森林の姿が見えてきます。	○			30~60	担当職員	林政課 政策企画係 Tel 027-226-3930 Fax 027-223-0463 rinseika@pref.gunma.lg.jp
5	48	森林整備について	民有林造林間伐支援制度について説明します。	○			30~60	担当職員	林政課 森林整備係 Tel 027-226-3221 Fax 027-223-0463 rinseika@pref.gunma.lg.jp

5	49	「ぐんま緑の県民基金事業」について	県民共通の大切な財産である豊かな森林を適切に整備・保全するため、平成26年度から「ぐんま緑の県民税」を導入しており、その取組状況と成果などについて説明します。	○			30～60	担当職員	林政課 政策企画係 Tel 027-226-3930 Fax 027-223-0463 gm-zei@pref.gunma.lg.jp
5	50	森林整備のための路網整備について	森林整備のための路網整備について説明します。	○			30～60	担当職員	林政課 基盤整備係 Tel 027-226-3223 Fax 027-223-0463 rinseika@pref.gunma.lg.jp
5	51	森林のはたらき・役割について	・森林のはたらきや役割など森林全般について説明します。 ・各地域の森林の現状等について説明します。	○			30～	(環境) 森林事務所職員	各(環境) 森林事務所(※)
5	52	ヤマビルの特徴と被害対策	群馬県内で急速に拡散しているヤマビルについて、その特徴と被害対策について説明します。	○	○	○	30～60	林業試験場研究員	林業試験場 Tel 027-373-2300 Fax 027-373-1036 rinshi@pref.gunma.lg.jp
5	53	森林からの贈り物“木材”	木材の性質・特徴を説明します。	○	○	○	30		
5	54	森林からの贈り物“きのこ”	きのこの種類・特徴を説明します。	○	○	○	30		
5	55	天然記念物(樹木)等の遺伝資源の保存	樹木の天然記念物の遺伝資源の保存方法、保存状況と後継樹の里帰りについて説明します。	○		○	30		
5	56	ニホンジカと森林との関わり	ニホンジカが森林に及ぼす影響について説明します。	○	○	○	30～60		
5	57	樹木の病虫害について	樹木につく病気や害虫の種類と防除法について説明します。	○	○	○	60	林業試験場研究員、(環境)森林事務所職員	林業試験場 Tel 027-373-2300 Fax 027-373-1036 各(環境)森林事務所(※)
5	58	林業に就業したい人へ	森林・林業作業、林業関係企業など、林業に就業する前に知っていただきたい内容を説明します。	○			60～90	担当職員	林業振興課 林業担い手対策室 生産力強化係 Tel 027-226-3235 Fax 027-223-0154 rinshin@pref.gunma.lg.jp
5	59	林業用機械等の取り扱い	チェーンソーの点検・整備方法/安全な伐採作業方法/刈払機の点検・整備方法/安全な刈払作業方法	○		○	120～1日	(環境)森林事務所職員 担当職員	
5	60	林業金融制度について	林業・木材産業改善資金や林業後継者特別対策資金を中心とした林業金融制度について説明します。	○			30～60	(環境)森林事務所職員	林業振興課 林業担い手対策室 経営強化係 Tel 027-226-3232 Fax 027-223-0154 rinshin@pref.gunma.lg.jp
5	61	県産材を使用した高性能住宅のすすめ	ぐんまゼロ宣言住宅促進事業の説明や、県産材を使用した高性能住宅に関する質問などにお答えします。	○		○	30～	担当職員	林業振興課 県産木材振興係 Tel 027-226-3240 Fax 027-223-0154 rinshin@pref.gunma.lg.jp
5	62	環境に優しい木の利用	木材を活用する上で、木材の持つ環境に優しい性質などについて説明します。	○	○	○	30～60		
5	63	ぐんまの木育	ぐんまの木を使った木育、ウッドスタートについて説明します。	○	○		60～90	担当職員 (群馬県木育インストラクター)	
5	64	きのこ栽培について	きのこ栽培実習の指導をします。	○	○	○	30～4時間	担当職員 (環境)森林事務所職員	林業振興課 きのこ振興係 Tel 027-226-3236 Fax 027-223-0154 rinshin@pref.gunma.lg.jp
5	65	保安林制度について	保安林の役割や制度等について説明します。	○			30	担当職員	森林保全課 森林管理係 Tel 027-226-3255 Fax 027-223-0463 shinrinho@pref.gunma.lg.jp
5	66	林地開発について	林地開発を行う場合の許可制度や手続きを説明します。	○			30		
5	67	県有林について	県有林の現状と利活用について説明します。	○	○	○	30	担当職員	林政課 林業改革推進係 Tel 027-226-3214 Fax 027-223-0463 rinseika@pref.gunma.lg.jp
5	68	森林ボランティア活動について	森林ボランティアの活動について説明します。	○	○	○	20	担当職員	林政課 森林活用推進係 Tel 027-226-3216 Fax 027-223-0463 rinseika@pref.gunma.lg.jp

6. 農業

※新規の講座は左に（新）と表示しています。

講座区分	番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
				一般	子ども	高齢者			
6	1	群馬県農業・農村の基本政策について	群馬県農業農村振興計画の概要等について説明します。	○			60	担当職員	農政課 調整・DX推進係 Tel 027-226-3017 Fax 027-223-3648 nouseika@pref.gunma.lg.jp
6	2	農地法制度について	農地の権利移動・転用許可制度について説明します。	○			30～60	担当職員	農業構造政策課 農地調整係 Tel 027-226-3021 Fax 027-225-0096 noukouka@pref.gunma.lg.jp
6	3	認定農業者制度について	認定農業者制度の概要について説明します。	○			30	担当職員	農業構造政策課 経営体支援係 Tel 027-226-3024 Fax 027-225-0096 noukouka@pref.gunma.lg.jp
6	4	就農支援制度について	群馬県で農業を始めるために活用できる制度等について説明します。	○			30～60	担当職員	農業構造政策課 農業者育成係 Tel 027-226-3064 Fax 027-225-0096 noukouka@pref.gunma.lg.jp
6	5	農業制度資金	農業制度資金の現状、制度の概要について説明します。	○			45～60	担当職員	農業構造政策課 経営資金係 Tel 027-226-3042 Fax 027-225-0096 noukouka@pref.gunma.lg.jp
6	6	鳥獣被害防止特措法に基づく被害対策について	野生鳥獣による農作物被害防止対策の制度・事業等について説明します。	○			30～60	担当職員	蚕糸特産課 鳥獣害対策係 Tel 027-226-3090 Fax 027-221-8681 sanshitoku@pref.gunma.lg.jp
6	7	農業技術・経営相談	各種農業技術や経営管理等について説明します。 (※対象:農業者等)	○※			60	担当職員	農業構造政策課 農業者育成室 経営技術係 Tel 027-226-3068 Fax 027-225-0096 noukouka@pref.gunma.lg.jp
6	8	農作業安全について	農作業事故の実態、事故防止のポイント等について説明します。	○			20～30	担当職員	米麦畜産課 農産振興室 農業技術災害係 Tel 027-226-3074 Fax 027-223-3095 beibakuchikusan@pref.gunma.lg.jp
6	9	環境保全型農業について	環境への負荷を軽減した持続的な農業生産を行う有機農業・特別栽培農産物・ぐんまエコファーマーの制度や各種の取組について説明します。	○			20～30	担当職員	農政課 有機・循環型農業推進室 有機・中山間係 Tel 027-226-3152 Fax 027-223-3648 nouseika@pref.gunma.lg.jp
6	10	農業のはなし	農業について、歴史や役割など、基礎的なことを説明します。	○	○	○	30	担当職員	農政課 有機・循環型農業推進室 農業環境・植物防疫係 Tel 027-226-3036 Fax 027-223-3648 shokubou7@pref.gunma.lg.jp
6	11	植物防疫について	植物防疫の概要や国及び県の取り組みについて説明します。	○	○	○	30	担当職員	
6	12	群馬県産野菜の現状	県産野菜の生産・出荷状況や「野菜王国・ぐんま」推進計画2020について説明します。	○	○	○	30～60	担当職員	野菜花き課 野菜係 Tel 027-226-3124 Fax 027-243-7202 yasaikakika@pref.gunma.lg.jp
6	13	群馬県の花き生産について	群馬県における花きの生産状況や特色について説明します。	○	○	○	30	担当職員	野菜花き課 花き係 Tel 027-226-3126 Fax 027-243-7202 yasaikakika@pref.gunma.lg.jp
6	14	観光果樹園について	県内の観光果樹園のもぎどり情報や、県産成品種の特色について説明します。	○	○	○	30	担当職員	蚕糸特産課 果樹係 Tel 027-226-3136 Fax 027-221-8681 sanshitoku@pref.gunma.lg.jp
6	15	釣り場のルール	群馬県漁業調整規則や遊漁規則等について説明します。	○	○		30～45	担当職員	蚕糸特産課 水産係 Tel 027-226-3095 Fax 027-221-8681 sanshitoku@pref.gunma.lg.jp
6	16	珍しいカイコと品種改良について	珍しいカイコや品種改良について説明します。	○	○	○	40～60	担当職員	蚕糸技術センター 蚕糸研究係 Tel 027-251-5145 Fax 027-251-5147 sanshigise@pref.gunma.lg.jp
6	17	遺伝子組み換えカイコについて	カイコが持っていない特性を遺伝子組み換えにより付与させる方法について説明します。	○	○	○	40～60		

6	18	カイコの飼育について	カイコの生態・飼育方法と人工飼料について説明します。	○	○	○	40~60	担当職員	蚕糸技術センター 技術支援係 Tel 027-251-5145 Fax 027-251-5147 sanshigise@pref.gunma.lg.jp
6	19	県産農畜産物等の輸出促進について	県産農畜産物等の輸出促進について説明します。	○			30~60	担当職員	ぐんまブランド推進課 輸出促進係 Tel 027-226-3131 Fax 027-223-3648 burando@pref.gunma.lg.jp
6	20	ぐんまの家畜防疫対策	家畜にはいろいろな伝染病がありますが、これらを防ぐための県の取り組み等について説明します。	○			30~60	担当職員	畜産課 家畜防疫対策室 防疫第一係 Tel 027-226-3111 Fax 027-223-3095 chikusanka@pref.gunma.lg.jp
6	21	牛の飼い方	ミルクを生産する牛(乳用牛)や肉を生産する牛(肉用牛)の飼い方を分かりやすく説明します。	○			60	担当職員	畜産試験場 酪農係・肉牛係・繁殖技術係 Tel 027-288-2222 Fax 027-288-2243 chikushi@pref.gunma.lg.jp
6	22	牛の品種	乳用牛や肉用牛の品種について分かりやすく説明します。	○			60		
6	23	和牛の放牧について	和牛放牧に関する技術などについて説明します。	○			60	担当職員	畜産試験場 肉牛係・繁殖技術係 Tel 027-288-2222 Fax 027-288-2243 chikushi@pref.gunma.lg.jp
6	24	子豚の話	子豚の誕生から肉豚になるまでを解説します。	○	○		40	担当職員	畜産試験場 養豚係 Tel 027-288-2222 Fax 027-288-2243 chikushi@pref.gunma.lg.jp
6	25	豚の品種について	どんな品種の豚がいるか、その特徴を説明します。	○			30		
6	26	鶏の飼い方	鶏の飼養管理について説明します。	○			60	担当職員	畜産試験場 養鶏係 Tel 027-288-2222 Fax 027-288-2243 chikushi@pref.gunma.lg.jp
6	27	鶏卵の品質について	鶏卵の品質について多方面から説明します。	○			60		
6	28	堆肥の作り方と使い方	堆肥の作り方と使い方について説明します。(物質循環の視点も入れて、子供向けや家庭菜園向けの説明もできます。)	○	○		40	担当職員	畜産試験場 飼料環境係 Tel 027-288-2222 Fax 027-288-2243 chikushi@pref.gunma.lg.jp
6	29	飼料イネの栽培と利用	飼料イネの特徴や栽培・収穫調製について説明します。	○			60		
6	30	コーンロールサイレージの調製と利用	細断型ロールペーラを利用した軽労かつ省力的な収穫作業について説明します。	○			60		
6	31	土地改良区って知ってますか	県内には多くの土地改良区があり、身近な農業水利施設の管理等を行っています。これらの土地改良区の役割と地域との関わりについて説明します。	○	○	○	30	担当職員	農村整備課 管理指導係 Tel 027-226-3142 Fax 027-224-8744 nousonka@pref.gunma.lg.jp
6	32	群馬県農業農村整備計画2020(ぐんま水土里保全プラン)	群馬県における農業農村整備事業(土地改良事業)の役割、基本方針、取り組みにあたっての考え方などについて説明します。	○	○	○	30	担当職員	農村整備課 企画係 Tel 027-226-3146 Fax 027-224-8744 nousonka@pref.gunma.lg.jp
6	33	意外に身近な群馬用水	群馬用水の歴史、役割、県民との関わりなどについて説明します。	○	○	○	30		
6	34	農業農村整備事業ってなに?	農業農村整備事業の概要やその役割、効果を事例をまじえて分かりやすく説明します。	○	○	○	30	担当職員	農村整備課 計画評価係 Tel 027-226-3154 Fax 027-224-8744 nousonka@pref.gunma.lg.jp
6	35	国土調査ってなに?	国土調査(地籍調査)の効果について説明します。	○	○	○	30	担当職員	農村整備課 技術調査係 Tel 027-226-3163 Fax 027-224-8744 nousonka@pref.gunma.lg.jp
6	36	みんなで取り組もう! 多面的機能支払	農地や農業用水などは様々な多面的機能を有しています。これらを地域のみんなで大切に守り、次世代に引き継いでいく仕組みについて説明します。	○		○	45	担当職員	農村整備課 施設保全係 Tel 027-226-3157 Fax 027-224-8744 nousonka@pref.gunma.lg.jp

6	37	群馬のため池について	県内のため池の状況やその目的について説明します。	○	○	○	30	担当職員	農村整備課 整備係 Tel 027-226-3161 Fax 027-224-8744 nousonka@pref.gunma.lg.jp
6	38	農地地すべり指定区域について	県内9箇所の農地地すべり指定区域の状況について説明します。	○	○	○	30		
6	39	中心経営体農地集積促進事業について	区画整理等、農業基盤整備事業の実施にあたり、農業者負担の軽減を図る中心経営体農地集積促進事業について説明します。	○	○	○	30		
6	40	中山間地域の農業生産基盤及び農村環境基盤の整備	中山間地域の農業生産基盤の整備と農村環境の整備について具体的な補助事業制度について紹介します。	○	○	○	30		
6	41	非公共事業について	農業水路等長寿命化・防災減災事業や農地耕作条件改善事業等、非公共事業に係る事業制度等について紹介します。	○	○	○	30		
6	42	中山間地域等直接支払制度	中山間地域等直接支払制度の概要について説明します。	○	○	○	30	担当職員	農政課 有機・中山間係 Tel 027-226-3152 Fax 027-224-8744 nousonka@pref.gunma.lg.jp
6	43	グリーン・ツーリズム、農泊について	グリーン・ツーリズム、農泊を活用した農山村地域の振興、都市農村交流の促進について説明します。	○	○	○	40		
6	44	赤城の沼に水を求めて	赤城大沼用水を築いた先人たちの歴史と現在の農業用水について説明します。	○	○	○	30	担当職員	中部農業事務所 農村整備課 Tel 027-233-0501 Fax 027-232-0348 chuunou-seibi@pref.gunma.lg.jp
6	45	世界かんがい施設遺産 長野堰用水	世界かんがい施設遺産に登録された長野堰用水は、高崎市の発展の礎となった農業用水です。この歴史や先人の偉業などを紹介し、地域を潤す水について説明します。	○	○	○	60～90	担当職員	西部農業事務所 農村整備課 Tel 027-322-5697 Fax 027-326-6293 seibunou-seibi@pref.gunma.lg.jp
6	46	赤城西麓を潤す	赤城西麓の2,400haの畑地帯において、農業用水の安定供給を図ることを目的に実施している赤城西麓土地改良事業について説明します。	○	○	○	30	担当職員	中部農業事務所 渋川農村整備センター Tel 0279-22-4040 Fax 0279-22-4861 shibuseibi@pref.gunma.lg.jp
6	47	世界かんがい施設遺産 長野堰用水	世界かんがい施設遺産に登録された長野堰用水は、高崎市の発展の礎となった農業用水です。この歴史や先人の偉業などを紹介し、地域を潤す水について説明します。	○	○	○	60～90	担当職員	西部農業事務所 農村整備課 Tel 027-322-5697 Fax 027-326-6293 seibunou@pref.gunma.lg.jp
6	48	赤城北麓土地改良事業	赤城北麓土地改良事業のあゆみ、幹線水路の老朽化対策、支線管路の整備、今後の展望について、担当職員が説明します。	○	○	○	30	担当職員	利根沼田農業事務所 農村整備課 Tel 0278-23-0377 Fax 0278-23-8912 tonenou-seibi@pref.gunma.lg.jp
6	49	美野原用水	中之条町の四方川を水源として、下流の美野原台地を潤している美野原用水とその建設の歴史について説明します。	○	○	○	60	担当職員	吾妻農業事務所 農村整備課 Tel 0279-75-7006 Fax 0279-75-7029 aganou-seibi@pref.gunma.lg.jp
6	50	孺恋キャベツと農地の開発	全国一の生産量を誇る孺恋高原キャベツと産地を形成してきた農地開発事業(つまごいパノラマラインを含む)について説明します。	○	○	○	60		
6	51	「大地をうるおす」田んぼの水はどこから来るのか	渡良瀬川から田んぼまでの水の流れをたどり、大地をうるおす農業用水(大間々頭首工、太田頭首工)について説明します。 (※対象:小学生)	○	○※		30	担当職員	東部農業事務所 農村整備課 Tel 0276-31-8384 Fax 0276-31-8386 toubunou-seibi@pref.gunma.lg.jp
6	52	田んぼの区画整理	田んぼの区画整理、区画拡大について事例を基に説明します。	○			30	担当職員	東部農業事務所 館林農村整備センター Tel 0276-72-2855 Fax 0276-73-9461 tateseibi@pref.gunma.lg.jp
6	53	美味しいブドウの作り方	せん定や種なしにする方法など栽培のポイントについて説明します。	○		○	60	担当職員	農業技術センター 果樹係 Tel 0270-62-1021 Fax 0270-62-2297 nogisen@pref.gunma.lg.jp
6	54	美味しい干しいもの作り方	美味しい干しいもの作りのコツをお話します。	○			20～60	担当職員	農業技術センター 分析・加工係 Tel 0270-62-1021 Fax 0270-62-2297 nogisen@pref.gunma.lg.jp
6	55	シクラメンを長く楽しむ方法	シクラメンの購入時のポイントや管理方法についてお話します。	○		○	60～90	担当職員	農業技術センター 花き係 Tel 0270-62-1021 Fax 0270-62-2297 nogisen@pref.gunma.lg.jp

(新)	6	56	美味しいリンゴ作り	品種と特徴、月別の栽培管理及びリンゴの機能性等について説明します。	○	○	○	60～90	担当職員	農業技術センター 中山間地園芸研究センター Tel 0278-22-3358 Fax 0278-22-3875 nogisen@pref.gunma.lg.jp
	6	57	家庭で育てるブルーベリー	品種と特徴、月別の栽培管理及びブルーベリーの機能性等について説明します。	○	○	○	60		
	6	58	中山間地園芸作物の育種と県育成品種について	リンゴ、ブルーベリー、ウド、フキ等の育種について説明します。	○	○	○	60～90		
6	59	農林業に対する獣害対策について	イノシシ、サル、シカ、クマ等の野生獣による農林業被害について、生態や被害対策を説明します。	○	○	○	30～60	担当職員	鳥獣被害対策支援センター 対策支援係 Tel 027-371-0003 Fax 027-371-0090 choujise@pref.gunma.lg.jp	

7. 経済・商工業・労働

※新規の講座は左に（新）と表示しています。

講座区分	番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先	
				一般	子ども	高齢者				
	7	1	経済統計で何がわかるか？	経済統計からみた群馬県の特徴を紹介するとともに、現在の経済状況がどのように変化しているかについて、どのような統計があり、それをどのようにみるのかを織り交ぜながら説明します。	○	○	○	30～60	係長(経済産業係長または加工統計係長)	統計課 経済産業係 Tel 027-226-2410 Fax 027-224-9224 toukeika@pref.gunma.lg.jp
	7	2	簡単！経済波及効果	イベントや施策などが県民経済にどんな影響を与えるのかを予測する経済分析ツールを紹介します。	○			30～60	担当職員	統計課 加工統計係 Tel 027-226-2404 Fax 027-224-9224 toukeika@pref.gunma.lg.jp
	7	3	県内経済の動向について	県内経済の概況／県内主要経済指標等／群馬の産業政策について説明します。	○			30～60	担当職員	産業政策課 調整・DX推進係 Tel 027-226-3314 Fax 027-223-7875 sangyo@pref.gunma.lg.jp
(新)	7	4	産業振興基本計画について	産業経済分野における最上位計画である産業振興基本計画の策定背景、基本理念、基本方針、主な施策の内容等について説明します。	○			30	担当職員	産業政策課 産業戦略室 未来産業政策係 Tel 027-898-2707 Fax 027-221-7875 sangyo@pref.gunma.lg.jp
	7	5	事業承継税制について	経営承継円滑化法に基づく事業承継税制について説明します。	○			45	担当職員	地域企業支援課 経営・事業承継支援係 Tel 027-226-3339 Fax 027-223-7875 kigyouka@pref.gunma.lg.jp
	7	6	リノベーションまちづくり	官民連携によるリノベーションまちづくりについて説明します。	○			45～60	担当職員	地域企業支援課 流通・サービス業係 Tel 027-226-3344 Fax 027-223-7875 kigyouka@pref.gunma.lg.jp
	7	7	大規模小売店舗の地域貢献ガイドラインについて	大規模小売店舗の地域貢献ガイドラインの概要について説明します。	○			15～30		
	7	8	企業の販路開拓支援	企業の販路開拓支援策の概要について説明します。	○			30	担当職員	地域企業支援課 マーケティング支援係 Tel 027-226-3359 Fax 027-223-7875 kigyouka@pref.gunma.lg.jp
	7	9	中小企業への研究開発支援	・研究開発への取り組みの重要性 ・ぐんまDX技術革新補助金及びぐんま技術革新チャレンジ補助金など、中小企業の研究開発に対する支援 施策の概要	○			30～60	担当職員	地域企業支援課 ものづくりイノベーション室 技術開発係 Tel 027-226-3352 Fax 027-223-7875 kigyouka@pref.gunma.lg.jp
	7	10	地場産業の振興	県の地場産業振興施策について説明します。(繊維・酒造・伝統工芸・産業デザイン等)	○			15～30	担当職員	地域企業支援課 ものづくりイノベーション室 地場産業係 Tel 027-226-3358 Fax 027-223-7875 kigyouka@pref.gunma.lg.jp
	7	11	障害者の雇用支援について	障害者の雇用支援の仕組み、県の施策を説明します。	○			30	担当職員	労働政策課 就労環境整備係 Tel 027-226-3404 Fax 027-223-7566 rouseika@pref.gunma.lg.jp

7	12	働き方改革について	長時間労働の是正や仕事と家庭の両立支援など、誰もが働きやすい職場環境づくりについての認識を深めてもらうとともに、県、国等の支援施策の概要を説明します。	○			45	担当職員	労働政策課 就労環境整備係 Tel 027-226-3404 Fax 027-223-7566 rouseika@pref.gunma.lg.jp
7	13	職業能力開発行政について	職業能力開発行政について説明します。	○	○	○	40	担当職員	労働政策課 技術人材係 Tel 027-226-3412 Fax 027-223-7566 rouseika@pref.gunma.lg.jp
7	14	若者就職支援について	ジョブカフェぐんまや学生向け合同企業説明会など、県の若者就職支援施策について説明します。	○			20	担当職員	労働政策課 人材活躍支援室 次世代人材係 Tel 027-226-3408 Fax 027-223-7566 rouseika@pref.gunma.lg.jp
7	15	在職者向けの技術講習について	産業技術専門学校で行う在職者の技術向上のためのコースを紹介しします。	○	○	○	40	担当職員	前橋産業技術専門学校 Tel 027-230-2211 maegisen@pref.gunma.lg.jp
7	16	求職者支援のための訓練コースの概要説明	訓練受講を必要とする求職者に、地域ニーズに即したコースを設定し、内容等を紹介しします。	○	○	○	30		
7	17	産業技術専門学校について(高校生向け)	高校卒業見込み者や一般求職者を対象とした説明会です(要望があれば施設見学・体験入学可)。	○	○	○	60~120	担当職員	前橋産業技術専門学校 Tel 027-230-2211 maegisen@pref.gunma.lg.jp 高崎産業技術専門学校 Tel 027-320-2221 takagisen@pref.gunma.lg.jp 太田産業技術専門学校 Tel 0276-31-1776 oogisen@pref.gunma.lg.jp
7	18	産業技術専門学校について(先生向け)	高校進路指導主事及び三年担任教諭を対象とした説明会です(要望があれば施設見学可)。	○	○	○	60~		
7	19	観光振興計画について	計画の位置づけと目標/計画の内容について説明します。	○			30	担当職員	観光魅力創出課 観光政策係 Tel 027-226-3381 Fax 027-223-1197 kankouka@pref.gunma.lg.jp
7	20	本県のインバウンドの現状と取り組み	群馬県における外国人観光客の状況や、現在の取り組み状況について説明します。	○			30~60	担当職員	観光魅力創出課 インバウンド推進係 Tel 027-226-3384 Fax 027-223-1197 kankouka@pref.gunma.lg.jp
7	21	労使紛争解決支援について	よくある職場のトラブルの事例やそれに関する労働法の知識を説明。また、労働委員会で行っている労使紛争解決支援制度の概要を説明します。	○			60	担当職員	労働委員会事務局管理課 総務調整・DX推進係 Tel 027-226-2783 Fax 027-223-7000 roui@pref.gunma.lg.jp
7	22	デジタルでクリエイティブしよう! ~「tsukurun」の紹介~	アニメやゲームのクリエイターに必須のデジタル技術やその技術を学ぶことができる令和4年3月に開設したデジタル人材育成のための施設「tsukurun」の概要や利用方法について、説明します。	○	○		60	担当職員	eスポーツ・クリエイティブ推進課 クリエイティブ人材係 Tel 027-898-2705 Fax 027-223-1197 supokuri@pref.gunma.lg.jp
(新)	7	23	「eスポーツ体験会」を開催してみませんか? eスポーツ体験会の開催に興味のある各種団体等(※任意団体可、個人は不可)を対象に以下のような体験会を開催します。 ■実施内容: eスポーツに関する説明及びeスポーツタイトルの体験プレイ ※体験会の開催費用はかかりませんが、会場費等が発生する場合には、開催を希望される団体で側でご負担ください。 ※営利を目的とした開催はできません。	○			120	担当職員	eスポーツ・クリエイティブ推進課 eスポーツ係 Tel 027-898-2706 Fax 027-223-1197 supokuri@pref.gunma.lg.jp

8. 土木・建設

講座区分	番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
				一般	子ども	高齢者			
8	1	大規模土地開発に必要な手続について	5ha以上の土地を開発するときに必要な「大規模土地開発事業の規制等に関する条例」の手続などについて説明します。	○			30	担当職員	地域創生課 土地・水対策室 土地利用・水資源係 Tel 027-226-2366 Fax 027-243-3110 chiikisou@pref.gunma.lg.jp
8	2	ぐんまの社会資本整備の進め方について	これからの社会資本整備によって、群馬県の各地域がどのように変わっていくのか、説明します。	○	○		45~50	担当職員	建設企画課 政策・DX推進係 Tel 027-226-3535 Fax 027-224-1426 kensetsukika@pref.gunma.lg.jp
8	3	群馬県交通まちづくり戦略	公共交通の現状や「群馬県交通まちづくり戦略」における公共交通の取り組みについて説明します。	○	○	○	30	担当職員	交通イノベーション推進課 地域交通係 Tel 027-226-2382 Fax 027-223-9510 koutsuibe@pref.gunma.lg.jp

8	4	鉄道振興について	県内鉄道の状況や活性化のための取り組みについて説明します。	○	○	○	45	担当職員	交通イノベーション推進課 鉄道振興係 Tel 027-226-2385 Fax 027-223-9510 koutsuibe@pref.gunma.lg.jp
8	5	ぐんまの道づくり	群馬県の社会情勢や道路の整備状況を踏まえ、道づくりの方向性や計画等について説明します。	○		○	30	担当職員	都市計画課 道路交通計画室 道路計画係 Tel 027-226-3586 Fax 027-221-5566 keikakuka@pref.gunma.lg.jp
8	6	ぐんまの川づくり	地域の方々と行政が一体となって自然豊かな河川環境・美しい水辺空間をつくるため、河川整備・河川管理について説明します。	○	○	○	30~60	担当職員	河川課 河川企画係 Tel 027-226-3617 Fax 027-224-1368 kasenka@pref.gunma.lg.jp
8	7	ぐんまの県営ダムについて	群馬県営のダム(塩沢ダム、道平川ダム・大仁田ダム、霧積ダム・坂本ダム、四万川ダム、桐生川ダムのいずれか)の概要、洪水被害の軽減や水資源の確保などのダムの役割・しくみなどについて説明します。	○	○	○	45	担当職員 担当土木事務所 職員	河川課 水害対策室 防災係 Tel 027-226-3619 Fax 027-224-1368 kasen-bousai@pref.gunma.lg.jp
8	8	屋外広告物について	良好な景観の形成、風致の維持及び公衆に対する危害の防止を目的とする屋外広告物条例の内容(禁止地域、許可地域、禁止広告物等)について説明します。	○		○	60	担当職員	都市計画課 景観形成係 Tel 027-226-3652 Tel 027-221-5566 keikakuka@pref.gunma.lg.jp
8	9	景観まちづくり	景観や景観まちづくりの方法などについて説明します。	○		○	30~60		
8	10	マンション管理について	マンションの管理について最近の動向や各種制度について説明します。	○			30	担当職員	住宅政策課 住宅政策係 Tel 027-897-2888 Fax 027-221-4171 juusei@pref.gunma.lg.jp

9. 行政・公営企業

※新規の講座は左に(新)と表示しています。

講座区分	番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
				一般	子ども	高齢者			
9	1	群馬県の行財政改革について	本県の行財政改革の取組状況を解説します。	○			30	担当職員	デジタルトランスフォーメーション課 企画チーム Tel 027-226-2331 dejitora@pref.gunma.lg.jp
9	2	マイナンバー制度について	マイナンバー制度について解説します。	○		○	30	担当職員	デジタルトランスフォーメーション課 市町村DXチーム Tel 027-226-2331 dejitora@pref.gunma.lg.jp
9	3	マイナンバーカードについて	マイナンバーカードの機能と使い方について解説します。	○		○	30	担当職員	デジタルトランスフォーメーション課 市町村DXチーム Tel 027-226-2331 dejitora@pref.gunma.lg.jp
9	4	地方分権について	地方分権の動きや本県における取組状況等について解説します。	○			60	担当職員	総務課 コンプライアンス・行政管理係 Tel 027-226-2027 Fax 027-221-2209 soumuka@pref.gunma.lg.jp
9	5	条例について	条例とはどういうものか、どのように作られるのかなどについて分かりやすくお話しします。	○			60	担当職員	総務課 法制係 Tel 027-226-2145 Fax 027-221-2209 soumuka@pref.gunma.lg.jp
9	6	群馬県の予算	群馬県の予算及び重点施策を中心とした県の政策について説明します。	○		○	60	担当職員	財政課 予算編成係 Tel 027-226-2092 Fax 027-224-9123 zaiseika@pref.gunma.lg.jp
9	7	暮らしと県税	県税全般について紹介します(特に、自動車税・不動産取得税の周知)。	○			60	税務専門官	税務課 Tel 027-226-2204 Fax 027-221-8096 zeimuka@pref.gunma.lg.jp
9	8	市町村合併について	市町村合併に係る背景や制度等について解説します。	○			60	担当職員	市町村課 行政係 Tel 027-226-2213 Fax 027-243-2205 sichouson@pref.gunma.lg.jp
9	9	やさしい公職選挙法	公職選挙法に基づく選挙制度全般について説明します。	○		○	60	担当職員	市町村課 選挙・政治団体係 Tel 027-226-2218 Fax 027-243-2205 senkan@pref.gunma.lg.jp
9	10	市町村の財政について	県内市町村の決算や地方財政健全化法に基づく健全化判断比率の状況や地方交付税制度などの市町村の財政について説明します。	○			60	担当職員	市町村課 財政係 Tel 027-226-2222 Fax 027-243-2205 sichouson@pref.gunma.lg.jp

(新)

9	11	市町村税について	市町村税制など市町村税の概要について説明します。	○			60	担当職員	市町村課 税政係 Tel 027-226-2228 Fax 027-243-2205 sichouson@pref.gunma.lg.jp
9	12	市町村の公営企業について	生活に身近な水道や下水道、病院など、市町村が経営する「公営企業」について説明します。	○			30	担当職員	市町村課 地方債・公営企業係 電話 027-226-2227 Fax 027-243-2205 sichouson@pref.gunma.lg.jp
9	13	県総合計画について	県政運営の基本方針となる県総合計画の概要を説明します。	○	○	○	30~60	担当職員	戦略企画課 総合計画・EBPM推進室 計画・EBPM係 Tel 027-226-2405 Fax 027-223-4371 keikaku@pref.gunma.lg.jp
9	14	外国人材の活躍推進について	外国人材の活躍に向けた群馬県の取組について説明します。	○			30	担当職員	ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 外国人活躍推進係 Tel 027-226-3396 Fax 027-243-3110 gunkurashi@pref.gunma.lg.jp
9	15	最近の地価の動向について	地価公示、地価調査の結果をもとに、地価の状況を説明します。	○			45	担当職員	地域創生課 土地・水対策室 土地利用・水資源係 Tel 027-226-2366 Fax 027-243-3110 chikisou@pref.gunma.lg.jp
9	16	利根川で結ばれた東京都との上下流交流について	本県と東京都が共同で行っている「上下流交流事業」について紹介します。また、ダムや森林等の役割を通して、水の大切さについてお話しします。(※対象:子ども)	○	○		30		
9	17	情報公開	情報公開に関する県の考え方や条例の概要について説明します。	○			40~60	担当職員	県民活動支援・広聴課 情報公開係 Tel 027-226-2271 Fax 027-223-2944 kenminka@pref.gunma.lg.jp
9	18	県民意見提出制度	県民意見提出制度(パブリックコメント)について説明します。	○			30		
9	19	個人情報保護	県が保有する個人情報(マイナンバーを含む)の保護対策等について説明します。	○			40~60		
9	20	人事委員会勧告制度について	人事委員会勧告制度の概要、県職員給与決定のしくみについて説明します。	○			30	担当職員	人事委員会事務局 給与係 Tel 027-226-2746 Fax 027-221-6247 jini@pref.gunma.lg.jp
9	21	群馬県職員になるためには	群馬県庁の業務内容や、県職員採用試験について説明します。	○			60	担当職員	人事委員会事務局 任用係 Tel 027-226-2745 Fax 027-221-6247 jini@pref.gunma.lg.jp
9	22	企業局の予算について	企業局の予算について説明します。	○			30	担当職員	企業局 経営戦略課 財政係 Tel 027-226-3934 Fax 027-243-7724 kkeieika@pref.gunma.lg.jp
9	23	企業局の事業概要・経営計画について	企業局は電気(発電)事業、工業用水道事業、水道事業、団地造成事業、施設管理事業を営んでいます。これらの事業の内容や経営状況・経営計画について説明します。	○			45	担当職員	企業局 経営戦略課 戦略・DX推進係 Tel 027-226-3915 Fax 027-243-7724 kkeieika@pref.gunma.lg.jp
9	24	発電所の仕組みについて	発電所ではどのように電気が作られるか解説します。	○	○		30~60	担当職員	企業局 発電課 電力係 Tel 027-226-3977 Fax 027-243-7738 khatsuden@pref.gunma.lg.jp
9	25	再生可能エネルギー利用拡大の推進について	再生可能エネルギーを利用した発電の取組み状況について説明します。	○	○	○	30~60	担当職員	企業局 発電課電源開発室 建設支援係 Tel 027-226-3981 Fax 027-243-7738 khatsuden@pref.gunma.lg.jp
9	26	工業用水道事業について	企業局は、工場などの事業所に洗浄・冷却などのための工業用水を供給しています。工業用水を作る仕組みと、企業局が工業用水道事業を営む意義・役割について説明します。	○	○	○	30~60	担当職員	企業局 水道課 工業用水道係 Tel 027-226-4012 Fax 027-220-4422 ksuidou@pref.gunma.lg.jp
9	27	水道事業について	企業局は県内の8市町村に水道用水を供給(卸売り)しています。水道用水を作る仕組みと、企業局が水道用水供給事業を営む意義・役割について説明します。	○	○	○	30~60	担当職員	企業局 水道課 水道係 Tel 027-226-4014 Fax 027-220-4422 ksuidou@pref.gunma.lg.jp

10. その他（特技等）

(1) 音楽

番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
			一般	子ども	高齢者			
1	「群馬デリバリー楽団」 (サクソによる出張ライブ)	人間の声に最も近い楽器と言われているサクソ（サクソフォン）の生演奏をお届けします。演奏者自作のカラオケをバックに、サクソの音色をお楽しみいただけます。必要なのは電源1つのみ、演奏者は一人ですので、地域の公会堂などの狭い会場でもOKです。レパートリーは懐かしの昭和歌謡、クラシック、唱歌等から最新のヒット曲まで約900曲あります。事前に御相談いただければ演奏曲のリクエストにも応じられます。映像と生演奏を併せてお送りする「映像バック」も実施しています（要相談）。	○	○	○	45~120	山崎 隆之	図書館 地域協力係 Tel 027-231-3008 Fax 027-235-4196 yamazaki-t@pref.gunma.lg.jp

(2) 自然

番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
			一般	子ども	高齢者			
1	お天気出前講座	気象の基礎知識（身近な県内を中心に解説）や、天気予報の裏側（気象用語の使い方や四季の言葉など）を、気象予報士がイラストや写真を多用して分かりやすく解説します。（対象：中学生以上）	○		○	90~	北角 友和	がんセンター 事務局経営課 Tel 0276-38-0771 Fax 0276-38-0614 kaku-t@pref.gunma.lg.jp
2	昆虫撮影入門	虫取り網をカメラに持ち替えて、虫撮りを楽しもう！ 昆虫の撮影方法の基本を解説します。 また、身近な生き物の写真スライドを見ながら自然観察の楽しみ方もお話しします。	○	○	○	30~	小西 浩司 (1級ビジュアル計画管理士)	水産試験場 Tel 027-231-2803 Fax 027-231-2135 koni-koji@pref.gunma.lg.jp

(3) 法律・地方自治・国際社会

番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
			一般	子ども	高齢者			
1	英国の劇場	老若男女が集う、ロンドン、ウエストエンドの文化について説明します。	○	○	○	60程度	石橋 幸子	文化財保護課 Tel 027-226-4680 Fax 027-243-7785 ishi-s@pref.gunma.lg.jp
2	フランスの地方自治	地方が元氣なフランスについて紹介します。	○	○	○	45	西 和一	グリーンイノベーション推進課 Tel 027-226-3271 Fax 027-223-0154 guriibe@pref.gunma.lg.jp

(4) 教育・学習

番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者	所属及び連絡先
			一般	子ども	高齢者			
1	航空知識	「飛行機はなぜ飛ぶか」から始まり、航空機、フライトオペレーション、航空管制など、日ごろ群馬県人になじみの薄い「空の世界」を分かりやすくご案内します。	○	○	○	60	糸井 秀幸	生活こども部 消費生活課 Tel 027-226-2273 Fax 027-223-8100 shouhika@pref.gunma.lg.jp
2	鉄道知識	身近な交通機関である鉄道について、運行原理や列車の型式、駅、線路、信号などの鉄道施設まで、オタク的な知識も含め詳しく解説します。	○	○	○	60		

11. 県立大学

(1) 女子大学

番号	テーマ	内容	対象			時間 (分)	説明者
			一般	子ども	高齢者		
1	絹のこぼ	群馬県は「養蚕のこぼ」が豊かに展開する地域です。「養蚕のこぼ」から、群馬ではぐくまれてきた養蚕文化を考えます。「富岡製糸場と絹遺産群」が世界遺産登録された今、「養蚕こぼ」の面から、その意味とこれからの課題を考えます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	教授 新井 小枝子
2	群馬のこぼと生活	群馬県の方言を中心に、日本語の方言についてかんがえます。方言は、私たちの生活実感をそっくりそのまま背負う「生活語」です。先人のもちいたこぼをたよりに、私たちの今、そして未来を考えます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
3	方言の地図を読む	地域ごとにみられる日本語の多様性は、古くから人びとの関心を集めてきました。それを反映してか、古今東西たくさんの方言地図が描かれてきました。日本全国の地図上に描き出された方言分布を読み解き、そこにたちあらわれてくる人々の営みを捉えます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
4	キツネとタヌキ	動物のお話ではありません。昔話や童話のお話でもありません。日本語の地理的変異、すなわち方言のお話です。日本全国で誰もが用いているこぼなのに、「あれ？表している内容がまったくちがう?!」ということばがあります。そのようなこぼをとりあげて、一緒に観察します。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
5	昔の日本人はどう発音したか—あどうまでの—	現代語と古典語とは、発音の仕方が異なります。これは学校で教わる読み方ともまた異なります。この講座では、それらを実際に発音してみることで、日本語の歴史の一端を体感していただきます。	○	○	○	90	准教授 富岡 宏太
6	日本語研究者、古典文学の解釈を考える。	文法や古典単語は嫌いだけれども、文学は大好きという皆さんへ。文法も古典単語も、やる時はやります！文学の読みに日本語学的な知見が役立つことを、『伊勢物語』『枕草子』などの具体例をもとに紹介します。 (※対象：高校生)		○※		90	
7	「ありがとう」という言葉がなかったら—こぼをくらべて考える—	現代語と古典語で表現のしかたが異なるものを比べて考えます。たとえば「ありがとう」という感謝の表現は、古典語にはありません。では、昔の人はどのように感謝を言葉にしたのでしょうか。こうした種々の表現の違いから、比べて考える楽しみを探ります。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
8	古典語で話してみよう	「古典文法といえば暗記」「必死に覚えても、役に立つのは受験の時だけ」と思っている方は多いはず。では、見方を変えて、自分で話す・書くとしたらどうでしょう。いくつかの表現から、古典語表現の面白さと「日本語の特徴とは何か」という問題とを探ります。 (※対象：高校生)	○	○※	○	90	
9	いろんな日本語を探しに行こう！	普段我々は意識していませんが、実はこの世の中は、様々な「こぼの不思議」であふれています。この講座ではそのいくつかを紹介し、考えます。「こんな表現あり?」「この漢字は、何と読む?」そう思ったら、新しい世界が見えてくるかもしれません。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
10	ずっとあなたが好きだった—義文クイズと解釈の問題—	題名の「ずっとあなたが好きだった」は、1つの文で複数の解釈ができます。このような文を義文と言います。この講座では、様々な義文の解釈をクイズ形式で考えていただき、複数の解釈が成り立つ理由や、よりわかりやすい表現を考えます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
11	彼に出逢えたのは偶然か—日本語の歴史と考え方のくせ—	日本語の歴史を探っていくと、その背景に我々の考え方の「くせ」を見つけることができます。この講座ではクイズを交えながら、色の名前、文法、敬語の使い方など、具体的な日本語の歴史を学び、それらが現代の私たちに何を教えてくれるのかについてお話します。 (※対象：高校生)	○	○※	○	90	
12	探検！古典単語の世界	たとえば、現代語で「かわいい」を意味する単語には「うつくし」と「らうたし」がありますが、両者にはどのような意味の違いがあるのでしょうか。この講座では、古典単語がどのように使われているかを、実際に調べ、比べてみます。昔の人のこぼに、耳を傾けてみませんか。 (※対象：高校生)	○	○※	○	90	
13	しくみで覚える古典文法—文法が苦手なみなさんへ—	「古典文法が苦手。でも受験に必要だし」と悩んでいるみなさん、やみくもに暗記しようとしすぎいませんか？文法は「文のしくみ」です。パズルのように考えることで、効率的に覚えるとともに、面白さに気づくこともできます。一緒に「苦手」を減らし、「好き」を増やしていきましょう。 (※対象：高校生)		○※		90	
14	他教科・科目とのかかわりの中で見る古典語	日本文学を学ぶにあたって、背景となる日本史の知識が必要だと思う方は多いと思います。それでは、こぼそのものをお考えするときには、どのような教科・科目の知識が役に立つのでしょうか。あるいは、こぼについて考えることは、どのように、他の教科・科目の理解につながるのでしょうか。この問題について、古典語を使って、一緒に考えていきます。 (※対象：高校生)		○※		90	

	15	日本語教育におけるコースデザイン	日本語以外の言語を母語とする人に、日本語を教えてほしいと言われたら、どのような準備が必要でしょうか。本講座では、日本語教育に初めて触れる方を対象に、日本語教育におけるコースデザインについて考えます。	○	○	90	准教授 國澤 里美
(新)	16	『出雲国風土記』を読む	和銅6年(713)、各国に地誌を提出することを求める、いわゆる「風土記撰進」の詔が出されました。そのうち、現在まで書物に残っているのは五カ国の風土記だけです。その中から、『出雲国風土記』のあらましについてお話しします。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	准教授 鈴木 崇大
(新)	17	山部赤人について	今からおよそ1300年ほど前、聖武天皇が即位した前後に活躍した山部赤人は、後に柿本人麻呂と併称されるなど、多くの優れた歌を残しました。この講義では、当時の時代背景も織り交ぜながら赤人の歌を紹介します。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	
(新)	18	『源氏物語』の女君たち	源氏物語の正編に登場する主要な女君を取り上げ、登場場面の描写をとおして人物像を読み取るとともに、物語の作品世界を考えます。 (1回の講座で取り上げられるのは一人の女君です) (※対象：中学生以上)	○	○※	90	講師 佐藤 洋美
	19	京極派の和歌を読む	中世和歌の中で、特に叙景歌(風景を題材とした歌)を得意とした京極派と呼ばれる歌人たちの歌を取り上げ、その風景の切り取り方にどのような特質があるのか、それは和歌の流れの中でどのような意味を持つものなのかなどといったことを考えます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	准教授 板野 みずえ
	20	『百人一首』を読む	かるたとしても馴染み深い『百人一首』。しかし実は非常に謎の多い作品でもあります。一体どういう作品なのか、成立の経緯を追うとともに、そこに収められた和歌を読み解き、『百人一首』という存在に迫ります。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	
	21	『新古今和歌集』を読む	和歌文学の到達点とも言われる『新古今和歌集』。『万葉集』や『古今和歌集』に比べるとあまり有名ではないかもしれませんが、藤原定家という和歌史に残る大天才を中心に、西行・後鳥羽院・藤原家隆といったそうそうたる顔ぶれの歌人が揃った奇跡の時代の歌集でもあります。これはぜひ押さえておきたいという有名な和歌を中心に、『新古今和歌集』の魅力的な和歌を味読します。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	
(新)	22	『おらが春』を読む	影印本の『おらが春』を解読します。 『おらが春』は一茶の自筆稿本を版下にして、一茶の没後に出版されました。くずし字に親しみながら、作品を読み味わってみましょう。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	准教授 二村 博
	23	知られざる群馬の作家たち	これまであまり知られていない群馬県出身の作家の活動や作品を紹介し、その特質について考えます。綿貫六助(昭和)、生方敏郎(沼田)、倉田潮(玉村)、大木雄二(赤塚)、中澤静雄(倉賀野)らを取り上げます。	○	○	90	教授 市川 祥子
	24	物語の中の清明	実在した陰陽師・安倍晴明について、彼が登場する「説話」「語り物」「浄瑠璃」「戯曲」などを中世末から近代までたどることにより、現在流通している晴明像がどのように作られてきたのかを考えます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	
	25	泉鏡花の「天守物語」	「天守物語」は大正6年(1917)9月に発表されました。姫路城の天守閣に住む妖怪と人間との物語ですが、それらは、先行する伝説を基に造形されています。近代人である鏡花が、前近代の伝説をどのように取り入れ、何を描こうとしたのかについて、映像資料も紹介しながらお話しします。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	
	26	泉鏡花の「夜叉ヶ池」	「夜叉ヶ池」は大正2年(1913)3月に発表されました。岐阜県と福井県の県境に実在する夜叉ヶ池の妖怪と麓の人間との、雨乞いをめぐる物語ですが、それらは、先行する伝説を基に造形されています。近代人である鏡花が、前近代の伝説をどのように取り入れ、何を描こうとしたのかについて、映像資料も紹介しながらお話しします。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	
	27	樋口一葉の「にごりえ」	「にごりえ」は明治28年(1895)9月に発表されました。東京の新開地・丸山福山町の銘酒屋を舞台に、天涯孤独の酌婦・お力と、彼女にいいあげて店を潰してしまった源七(とその家族)、金切れがよい上客である朝之助との関係が描かれ、その中で、彼女の心情が辿られます。映像資料も紹介しながらお話しします。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	
	28	現代文学の表現	20世紀の文学、芸術に大きな影響を与えたダダイズム、シュルレアリスムの表現について考えてみます。草野心平や西脇順三郎の詩を具体的な材料にして現代文学の表現の楽しさを知っていただけたらと思っています。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	教授 権田 和士
	29	近代文学と宗教	近代日本を代表する作家の一人である夏目漱石の小説や随筆を材料として、漱石が近代社会をいかに捉え、宗教にどのように向き合ったのか、考えてみたいと思います。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	
	30	近代文学としての批評	小林秀雄は批評を独立した文学作品とし、日本において近代批評を確立した批評家として知られています。批評はどのようにして「文学」となったのでしょうか、また、そこでは他者と自己の関係はどのようなものとなっているのでしょうか。小林秀雄の小品を読んで、そのようなことを考えてみたいと思います。	○	○※	90	

31	桃源郷はどこにあるのか？ ——「桃花源記」を読む	“桃源郷”の出典となる、陶潜「桃花源記」は、中国のみならず日本においてもよく親しまれている。その影響の跡を辿りながら、東アジアにおける理想郷の諸相を考えてみたい。 (※対象：高校生)	○	○※	○	90	教授 井上 一之
32	中島敦「山月記」と「人虎伝」	中島敦の「山月記」は、中国唐代の伝奇小説「人虎伝」を基礎にして作られたことはよく知られている。この講座では、両作品の比較を通して、日本と中国の相違や中島敦の文学について考えてみたい。(※対象：高校生)	○	○※	○	90	
33	佐羽淡斎—桐生の漢詩—	佐羽淡斎(さばたんさい)は、江戸文化・文政年間に活躍した、絹の仲買商です。巨万の富を築くとともに、全国に名を馳せた漢詩人でもありました。彼の遺した作品を鑑賞することで、江戸時代の上州、桐生に対する彼の強い愛情と街の盛況を実感したいと思います。	○	○	○	90	
34	「環状島モデル」に基づく 対面式聴き取り調査の理解	精神医学者である宮地尚子氏によって提起された「環状島モデル」に基づきながら、既存の対面式聴き取り調査が陥りやすい誤りについて解説する。	○	○	○	90	教授 宮内 洋
35	Aspects of British Culture	Aspects of British Culture. The class system, regional dialects, leisure activities and more. (英語による講義です。)	○	○	○	90	教授 ロドニー・ビドル
36	Learning Through Communication コミュニケーションを通しての学習	A communicative English class suitable for high school students. (英語による講義です。) (※対象：高校生)	○	○※	○	90	
37	英語の会話の仕組み	会話ができるようになるために英語を習う人は多いと思います。本講座では「英語のレッスン」から少し離れて、「英語の会話の仕組み」を分析します。実際の会話を観察して、英語母語話者が言葉を用いてどのように関わり合いながら会話を進めているのか、その傾向を探ります。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	准教授 小林 隆
38	第二言語習得研究:英語学習の科学的アプローチ	英語を習得するのはなぜ難しいのでしょうか。学習開始時期によって、習得の度合いに差はあるのでしょうか。このような疑問に答えようとするのが、第二言語習得研究という学問です。本講座では、これまでの研究成果を踏まえて、効果的な英語学習法を紹介します。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	教授 飯村 英樹
39	英文法を楽しもう	「英文法」と聞くと苦手意識が先に立ってしまう人が多いかもしれませんが。そうした学習者のために、英語の背景にある発想やとらえ方を解説し、英文法をより身近な、取り組み易いものにしてもらえるようにお話ししたいと考えています。 (※対象：高校生)	○	○※	○	90	教授 清水 啓子
40	洋楽の英語歌詞を楽しむ	洋楽(ポップスやロック)の英語歌詞を鑑賞します。読んで、歌って、楽しみながらの英語レッスンです。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	教授 松崎 慎也
41	文学の中のアニミズム	世界を持続可能なものにする実践として、アニミズム—非人間を人間と同じ人格であるとする思考—が現れる文学作品を読み解きます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
42	英米の動物詩を読む	詩には、古くから多くの動物が登場してきました。身近な動物、架空の動物。描かれ方も寓意的・写実的とさまざまです。イギリスやアメリカの詩に現われる動物たちの姿を通して、人と動物との意外な関わりに触れてみましょう。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	教授 島田 協子
43	英米文学の中の電報	19世紀中頃に実用化された電報は、電話が普及するまでの間、人々の日常生活の中でしばしば利用されました。当時を描く小説の中でも、人々は電報を打ったり、受け取ったりしています。文学作品の中で、人々を互いに結びつける通信手段は物語を動かす重要な要素ですが、電報はどのように文学作品の中に登場し、どのような役割を果たしているのでしょうか。英米の文学作品からいくつかの例を取り上げ、考えてみましょう。	○	○	○	90	
44	「私」の誕生—過去と現在—	「私とはどのような者であるのか」という問い。みなさんの多くが尋ねてみたことでしょうか。本講座では、西欧において「私」あるいは「自己」というものが、いつ、どのような経緯をへて生まれ、さらに、その誕生以来、「私」や「自己」をめぐる事情がどのような展開をみせ、今日にいたっているかについて考えます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	教授 小林 徹
45	「怖い」についての文化史	人間のもつ感情について「喜怒哀楽」という言葉がありますが、それだけでいいのでしょうか。「怖い」と感じることもさらに、多々あるはずですが。それでは「怖い」という感情は、西欧の歴史において、また今日の日本でも、ただただ避けられるべきものだったのでしょうか。本講座ではその点を検討します。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	

(新)

46	帆船時代の郵便配達	アメリカがまだイギリスの植民地だった17・18世紀には、遠く離れた場所の情報を得るには多大な困難や危険が伴いました。その当時、海に向こうへと郵便を届けるサービスがどのようなものであったのか、同時代のアメリカの新聞記事を主な手掛かりとして、紹介します。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
47	同時代史料にみるカリブの海賊	映画や漫画で身近な海賊を例にとり、歴史研究とはどのような知的営為であるのかを紹介します。17・18世紀のカリブ海や大西洋で、海賊となる人々が増加した一因を、その時代に書かれた史料(資料)から探してみます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	准教授 笠井 俊和
48	大西洋奴隷貿易—奴隷船の物語—	現在、アメリカ合衆国の人口の約13%はアフリカ系アメリカ人ですが、そもそも彼らの祖先は、どのような経緯でアメリカへと到達したのでしょうか。この講座では、18世紀に、西アフリカの人々が囚われの身となり、奴隷船でアメリカへと送られたプロセスを解説します。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
49	アメリカ映画の歴史	現在、わたしたちが慣れ親しんでいるアメリカ映画はいつごろ生まれ、どのようにして完成した形式になったのでしょうか。この授業では当時の映像を観ながらアメリカ映画一世紀の歴史を振り返ります。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
50	アメリカ映画に描かれた「世界」	アメリカ映画は決して世界をありのままに捉えてはおらず、しばしば、自分たちの国以外の世界に対して非常に典型的なものの方を示してきました。たとえば第二次大戦中の中国と日本、冷戦時代のソ連、今日の中東などがその好例です。この授業ではこれらの類型化について実例を交えて考察し、その問題点を検討します。	○	○※	○	90	
51	アメリカ・女性参政権の歴史	20世紀の文学、芸術に大きな影響を与えたダダイズム、シュルレアリスムの表現について考えてみます。草野心平や西脇順三郎の詩を具体的な材料にして現代文学の表現の楽しさを知っていただけたらと思っています。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	准教授 木下 耕介
52	映画で考えるSDGs	近年、様々なところで「SDGs」という言葉を耳にするようになりました。また、それと同時に、「ダイバーシティ(diversity)／多様性」という言葉も使われるようになりました。単語自体は知っているもののよく意味がわからない。なんとなく意味はわかっているけれど、説明するのは難しい…そういう方は多いのではないのでしょうか。この講座では、このふたつの言葉の大事なつながりについて、映画やドラマを通して考える視点をご提案します。	○		○	90	
53	人の動きをデザインする—「振付」という視点—	ジャンルを問わず、どんなダンス(舞踊)にも「振付」があります。その様々な手法や形態を見比べて、「人が人を動かす」ことの奥深さにふれてみましょう。またダンスの枠組を超え、人々の日常の行動や動きを「振り付ける」という新しい考え方も紹介します。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	准教授 武藤 大祐
54	自然の美しさとは？	私たちは、なぜ、どのようにして自然を「美しい」と感じるのでしょうか。現代の環境美学と呼ばれる分野を中心として、自然美をめぐる美学者の理論に触れていきます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	講師 青田 麻未
55	西洋美術におけるギリシア・ローマ神話	古代ギリシア・ローマ神話は、西洋美術の題材として好まれてきました。どのような物語や作品があるのでしょうか。また、人気の秘密は何であったのでしょうか。神話美術の作品と一緒に読み解いたり、現代日本の文化とも関連づけたりしてみたいと思います。	○	○※	○	90	
56	西洋美術の作品を彩る名脇役たち	何気なく添えられているかのように見える動物や植物、様々な物たち。実は作品を読み解く重要な鍵かもしれません。それらにはどのような意味が込められているのでしょうか。一緒に考え、再認識していくことで、日常生活にも彩りを添えてくれるかもしれません。 (※対象：高校生、大学生)	○	○※	○	90	教授 藤沢 桜子
57	石膏像で学ぶ西洋美術史	学校の美術室などに石膏像はありませんか？デッサンの教材として知られていますが、今回は西洋美術史の観点から、もとはどのような彫像なのか、またどのような評価がなされてきたのかなどを時代の動きとともに考えたり、鑑賞したりしてみたいと思います。 (デッサン実技はありません。)		○※		90	

58	ルネサンス美術に見る結婚・出産	ルネサンス期のイタリアでは家庭内に置かれる様々な家具・調度品とりわけ婚礼家具や出産に際しての贈答品にも多種多様な物語が描かれていました。それらを通して、当時の結婚・出産について考えてみたいと思います。	○	○	90	准教授 大野 陽子
59	西洋美術におけるキリスト教主題	ヨーロッパがキリスト教化された4世紀以降、キリスト教は西洋美術の主な主題となってきました。「聖書」に語られるキリストやマリアの生涯だけでなく、中世に成立した聖人伝も美術において重要な題材となっていました。その読み方には一定の決まりもあります。初期キリスト教時代から近代までの宗教画において特に取り上げられることの多い人物や逸話を表わした美術作品を見ていきましょう。	○	○	90	
60	バロック美術の巨匠・カラヴァッジョ	17世紀初頭のローマで活躍したバロック美術の巨匠カラヴァッジョの絵画を鑑賞します。その独特の様式がいかにして成立し、彼の没後、その影響はどのようにヨーロッパ中に広まったのかを見ていきます。	○	○	90	
61	西洋美術に見る音楽	神話における音楽の神や詩人、聖母子の周りで楽器を奏でる天使たち、音楽の守護聖人、そして音楽家の肖像と、西洋美術には様々な形で音楽が描かれています。中世から近世までの美術作品に登場する音楽図像を通して、それぞれの意味を探っていきましょう。	○	○	90	
62	狩野派の歴史	狩野派は、時代ごとの権力者の御用をつとめてきた絵師集団です。応仁の乱後に現れ、信長・秀吉・家康の3人の天下人に用いられ、江戸時代を通じて、徳川将軍に抱えられていました。その狩野派の歴史を、作品とともに紹介します。	○	○	90	准教授 三宅 秀和
63	「日本美術史」という学問	「日本美術史」は、日本の美術の歴史を研究する学問です。そこでは具体的にはどのようなことが行われているのか、日本美術史を作り上げる個々の作品を、研究者たちはどのように調査、研究しているのか、を紹介します。 (※対象：高校生)	○	※	90	

64	地域と美術の関わり	美術表現の多様性ととも、様々な場所で展覧会が試みられるようになりました。工場跡や商店街、市や複数の集落、里山や島々をつかった大規模なものなど、さまざまな展覧会の事例を紹介しながら地域とアートの関わりを考えてみましょう。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	教授 山崎 真一
65	「あつめる」ことから見た美術	切手、フィギュア、文房具、カード、レコード、スニーカー、作品など何かをあつめる行為、誰もが経験したことがあるのではないのでしょうか。本講座では、あつめることをキーワードに絵画から現代美術まで、幅広い作品を紹介いたします。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
66	身近なデザイン・アートに親しむ	身近にあるデザインやアートに親しむ方法を過去数年間行ってきた群馬県立女子大学美術史学科デザインゼミと地域とのアート&デザインプロジェクトの事例を紹介しながらお伝えします。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	教授 高橋 綾
67	アートを通して街を活性化するためのノウハウ（企画からイベント開催まで）	近年各地でアートを通じて街の活性化を図るイベントやプロジェクトが開催されています。ここではその仕組みや企画の仕方、アーティストとのかわり方や資金に関することなど具体的なノウハウをお伝えします。今まで自分の街で、こんなことが出来たらいいなとイメージしていたことを実現するきっかけにはならず。	○		○	90	
68	アートプロジェクトを楽しもう！	近年各地で開催されているアートプロジェクトの楽しみ方を伝えます。アートプロジェクトって何？その意味や目的と、群馬県内で行われているアートプロジェクトも紹介します。現代アート初心者にわかりやすく、親しみやすい講座です。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	准教授 奥西 麻由子
69	町を活性化する企画を作ろう！	近年各地で街の活性化を図るイベントやプロジェクトが開催されています。自分たちの地域を見直し、そこにある文化や自然を活かした企画を考えてみませんか？ここでは県内の取り組みなどを紹介し、具体的に企画の作り方を伝授します。総合的な学びの中で、中・高校生の目線で街を再発見することにつながるはず。		○※		90	
70	社会調査って何だろう	あまり気づくことがないかもしれませんが、現在、わたしたちの社会では、じつにたくさんの社会調査が行われています。どのような社会調査が行われているのか、なぜ社会調査が行われるのか、社会調査で何がわかるのか等を、事例や分析結果を挙げ、紹介します。 (※対象：高校生)		○※		90	准教授 錦山 亜紀
71	パズルの数学	論理パズルは古くから哲学上の問題となっているうそつきパラドックス等と密接な関わりを持っています。このようなパズルを解きながら、パラドックスから現代数学までに至る道をながめてみます。 (※対象：中学生、高校生)		○※		90	
72	暗号の科学	現在のネットワーク社会において暗号技術は不可欠なものであり、気づかないうちに誰もが利用しています。その一方で暗号は歴史の様々な場面で重要な役割を果たしてきました。この暗号技術を古代から現在に至る時代の変遷を通して見てみましょう。 (※対象：中学生、高校生)		○※		90	
73	コンピュータの起源とプログラミング	コンピュータは、数学者のチューリングが考案した理論的な機会が元になって作られました。この講座では、チューリングが考案したモデルを簡単にしたものを使って、手動でコンピュータを動かすことで、プログラミングやコンピュータの原理に触れることを目標とします。		○		90	准教授 鈴木 親彦
74	人文学資料を中心としたデジタルアーカイブ入門	歴史資料、地域資料、美術作品といった様々な人文学資料が、デジタルアーカイブで活用可能になってきました。デジタルアーカイブの使い方を知ることで、時間と場所を選ばず様々な資料にアクセスが可能になります。さらに、デジタル化の効用で従来とは違う、人文学資料の幅広い活用も行えます。デジタル技術がつなぐ人文学資料の新しい展開を学んでみましょう。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
75	現代論理学入門—「論理的に考える」とはどのようなことか—	「論理的に考えよう」とよく言われます。しかし「論理的に考える」とは、いったいどのようなことなのでしょう。実は現代論理学は、そのお手本を私たちに示してくれているといえます。この講座では、そのお手本の一部を見ることで、「論理的に」の意味を実感してもらいたいと思います。 (※対象：高校生)	○	○※	○	90	
76	クリティカル・シンキング入門	クリティカル・シンキングは「批判的思考」と訳されますが、「批判」と聞くと、それは相手を「非難」という、攻撃的なイメージと直結しているのではないのでしょうか。この講義では、相手を「非難」することとはある意味で真逆の、「批判」の本当の意味を理解します。 (※対象：高校生)	○	○※	○	90	講師 細川 雄一郎

77	「ソーシャル・メディア」を考える	いまや我々の日常にしっかりと定着したソーシャルメディア。そもそも、それらはどのように登場し、我々の社会を変えてきたのでしょうか。その変容をメディア史、思想史、メディア論の視点から考えていきます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	教授 山崎 隆広
78	電子書籍を考える	スマートフォン、タブレットコンピュータ、読書専用端末など、続々と登場する「本を読むための機械」。新たなデバイス、どのように我々の情報環境を変えてきたのでしょうか。そして、それに伴って、我々の「知」はどのように変容していくのでしょうか。最新事例などをまじえながら考えます。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
79	脱北者からみる多文化共生社会への可能性	韓国では、1990年代後半から北朝鮮を離れて韓国に定着する脱北者が増加しています。韓国政府は、脱北者が南北の長年にわたる断絶で生じた政治・社会・文化の相違を理解して韓国社会に適応できるように、同化政策にもとづく独自の支援政策を行ってきました。近年では、韓国が多文化社会へ移行するにつれて、脱北者支援政策にも多文化主義の観点を取り入れる議論が現れています。本講座では、脱北者に対する同化政策から多文化主義政策への様々な取り組みを紹介し、多文化共生社会への可能性について解説します。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	准教授 尹 珍喜
80	英語の音声と発音	言葉を話すということは、その言葉を構成する様々な音を口の中で形作って発話することです。この講座は、英語音声と日本語音声の違い、調音のしかたや英語のリズムなど、発音上達に役立つ英語音声学の知識を身につけていただくことを主眼にしています。 (※対象：中学生以上)	○	○※	○	90	
81	PRAATを使った英語母音の発音練習	音声分析ソフトウェアPRAATを使って、自分の英語母音の発音と英語母語話者の発音を比較します。比較することで、うまく発音できない母音はどれか、どうしたら上手に発音できるかを考えていきます。 (※対象：コンピュータの基本操作ができる方)	○※	○※	○※	90	教授 小笠原 奈保美
82	自然災害避難呼びかけ文の現状と問題点・改善点	津波や水災害・土砂災害の危険があるときに、自治体が地域住民に対して避難を呼びかけます。複数の自治体から集めた避難呼びかけ文を言語学の観点で分析し、そこから見えてきた問題点・改善点を紹介します。 (※対象：防災に興味のある方)	○※		○※	90	
83	音声分析を通して触れる音の世界	PRAATというフリーソフトを使って、自分の声の波形や一般に声紋と呼ばれるスペクトログラムを見てみませんか。音声分析を通して、音の世界に触れてみましょう。 (※対象：高校生以上。自分のPCを持参出来る方。)	○※	○※	○※	90	
84	外国語の学習は、本当に早ければ早いほど良いのか	早期英語教育の重要性が叫ばれています。日本の小学校では、外国語活動のクラスが3年生に引き下げられました。これらは、「外国語の学習は、早ければ早い方が良い」という考えに基づいています。しかしそれは本当なのでしょうか。この講座では、これまでの研究成果を基にして、母語習得、そして外国語習得にこの「仮説」が当てはまるのかどうかを検証します。資料と講師が話す言語は、日本語と英語の選択が可能です。	○		○	90	教授 神谷 信廣
85	嘘の見分け方。	ドストエフスキーは、「人生において何よりも難しいことは、嘘をつかずに生きることだ。」と言いました。そのくらい嘘は、私たちの日常に溢れています。でもほとんどの人は、嘘をつくときに良心の呵責を感じます。そのため無意識のうちに、普段とは異なる仕草を見せます。この講座では、それらの所作を学ぶことにより、皆さんを嘘発見器に成長させます。ペアで嘘をつき合う活動と、少しだけ英語の勉強もあります。 (※対象：高校生)	○	○※	○	90	
86	Prosody of English	The aim of the class demo is to demonstrate to students the importance of stress, intonation, rhythm and duration in speech. The objective is to have fun with English prosody by using different examples. (英語による講義です。)(※対象：高校生)	○	○※	○	90	教授 ニール・スネイプ
87	The Sounds of English	The aim of the class demo is to demonstrate to students how individual sounds can be identified by using fun activities. The objective is to familiarize students with the International Phonetic Alphabet. (英語による講義です。)(※対象：高校生)	○	○※	○	90	
88	世界の英語を巡る	英語を話す人は、今や世界で15億人にも達していると言われています。イギリスやアメリカ、オーストラリアなど、英語が母語・第1言語として用いられている国々だけでなく、インドやシンガポール、フィリピンなど、英語が第2言語・公用語として用いられている国々や、ヨーロッパや東アジア、南米諸国など、英語が外国語として学ばれている国々もあります。本講座では、インターネットでアクセスできる音声資料等を用いながら、世界の様々な地域で話されている英語の特徴をご紹介します。 (※対象：高校生)	○	○※	○	90	教授 深谷 晃彦
89	言語学から見たことばの世界	ことばには、私たちが意識していない規則性や構造が隠れています。本講座では、言語学という学問に触れたことのない方々を主な対象として、母語話者が持っていることばの知識はどのようなものなのかについて、英語と日本語の音声や文法、意味等に焦点を当てながら、お話しさせていただきます。 (※対象：高校生)	○	○※	○	90	

(新)

90	英語らしさについて - ライティングの観点から	英語をどのように書けば英語らしくなるかを、英語と日本語の比較を通して考えていきます。第一部では主に構文に、第二部では表現方法に焦点を当てて、英語らしい英語とは何かを考えます。講座の中では、みなさんのご意見もお聞きしながら話し合えればと思っています。	○	○	90	教授 細井 洋伸
91	文化による丁寧さの違い - 日米比較を通して	日本人が丁寧だと思っていることが、アメリカ人にとっても同様に丁寧であるかという、必ずしもそうではありません。果たしてどのような価値観の違いがあるのかを、考えていきたいと思います。 (※対象：中学生以上)	○	※	90	
92	異文化コミュニケーション	異なった文化を背景とする人達がコミュニケーションをしていく上で生じる問題、原因を理解し、そのような問題にどのように対処していくかを考えていきたいと思います。 (※対象：中学生以上)	○	※	90	
93	日本人学習者による英語の習得	この授業では日本語を母語とする学習者が英語を習得する過程を調査した研究を紹介します。特に英文法の習得に焦点をあて、日本語母語話者の英語能力について考えます。 (※対象：中学生以上)	○	※	90	准教授 梅田 真理
94	日英対照を通して英語を学ぶ	日本語母語話者が英語を学習する際に難しく感じる文法的要素がいくつかあります。この授業では「時制」や「数」の表現を中心に、日本語と英語の比較を通し、英語の文法を学びます。 (※対象：中学生以上)	○	※	90	
95	ことばのやり取りにおける法則	コミュニケーションを行う上で、ことばの意味を理解することは必須です。しかし、人は常にことばを文字通りの意味で使うわけではありません。この講座では、ことばのやり取りにおける法則を知り、聞き手がどのように話し手の意図している意味を汲み取るのか英語と日本語に焦点を当て学びます。 (講義は日本語でも英語でも可能です。)	○	○	90	准教授 吉村 敬子
96	英語の変種 (バリエーション)	ひとくちに英語といっても、アメリカ英語、イギリス英語と区別されるように英語には違いがあります。同じ国においても、地域、人種、社会的地位、年齢、性別などによりことばには違いがあります。この講座では、アメリカ英語の変種を中心に様々な例をご紹介します。 (講義は日本語でも英語でも可能です。)	○	○	90	
97	文化により異なるコミュニケーションの取り方	異文化間でコミュニケーションを取るのにはなぜ難しいのか。言葉の壁もあるのですが、単に言葉の意味を理解できるからといって、その文化に合った適切なコミュニケーションが取れるとは限りません。例えば、頼みごとをするとき、人に謝る時、褒められた際の反応など、どのような言語表現を使うのが適切なか、言語・文化により異なるかもしれません。この講座では、発話行為に関する異文化比較研究を紹介しながら、文化により異なるかもしれないコミュニケーションの取り方を語用論的視点から見えていきます。 (講義は日本語でも英語でも可能です。)	○	○	90	
98	アジアを中心とする新興国の成長と日本企業の成長	日本にとって近年のアジアは、最も重要な製造拠点としての機能に加え、販売拠点や消費市場としての役割に向かいつつある。この講座では、アジアを中心とする新興国の成長、特に中間所得層の拡大と今後日本企業のビジネス戦略について考えます。 (※対象：高校生)	○	※	90	教授 干 蘭風
99	こころを科学する：注意の力	自動車の運転中、標識に少し注意するだけでラジオの話聞き逃したことはありませんか？スマートフォンを操作しつつ歩いても、ちゃんと注意して前を見てるよ、なんて思っていないですか？私たちの注意の力は、頼もしい一方で、過信も禁物です。注意しているようでもできていない、注意の意外な側面を、映像を交えつつ解説します。 (講義時間は90分以内で変更可) (※対象：高校生)	○	※	90	教授 甲村 美帆
100	顔とコミュニケーション	街路ですれ違った人を「なんとなく見たことがある」と思っていたら、かかりつけのお医者さんだった、という経験はありませんか？あんなに親しくしていたのに、なぜ分からなかったのでしょうか。社会的動物であるヒトにとって特別な意味を持つ「顔」を、科学的な視点から解説します。 (講義時間は90分以内で変更可) (※対象：中学生以上)	○	※	90	
101	グローバル社会の「なぜ」を考えよう	なぜ戦争は起こるのでしょうか。なぜ国家間の戦争は減りつつあるのでしょうか。どうして核兵器は世界からなくならないのでしょうか。こうしたグローバル社会における、「戦争と平和」の基本的な諸問題に迫ります。 (※対象：高校生、大学生)	○	※	90	教授 野口 和彦
102	理論と事例で学ぶ部下のモチベーション (やる気) をアップする方法	あなたの部下は、やる気なさそうだったり、いつもつまらなそうに仕事をしていたりしませんか？それは、モチベーション (やる気や動機付け) の問題を抱えているかもしれません。本講座では、代表的な動機付けの理論と事例を通じて、部下のモチベーションをアップする方法を一緒に考えていきます。	○		90	教授 日語慎一郎
103	経済活動を動かす心理	経済の基本は損得勘定だと言われますが、本当にそれだけでいいのでしょうか？ 実のところ、人は様々な心理や感情に動かされて経済活動をしていることが最近では明らかになってきています。この講座では、実際に実験やゲームをしながら、私たちの経済活動を動かす心理について学びます。 (※対象：中学生以上)	○	※	90	准教授 原谷 直樹

104	発展途上国の貧困とリスク	普段の私たちの生活にリスクはつきものですが、社会的セーフティネットのない発展途上国の生活では、事態はより深刻です。本講座では、様々なリスクにさらされている途上国の人々の暮らしと貧困の関係を、現地調査の写真やエピソードを交えて紹介し、貧困層支援の方策を検討します。	○	○	90	准教授 布田 朝子
105	グローバルな人の移動からデモクラシーを再考する	近代的デモクラシーは、政治参加できる人々の範囲を拡大し続けてきた。それは同時に、「国民」を創り出す歴史のプロセスでもあった。他方で、現代のグローバルな人の移動は、そうしたデモクラシーのあり方に根本的な挑戦を突きつけていると言える。本講座では、移民や難民といった多様な人の移動の観点から、私たちが当たり前に受け入れてきた政治のかたちを問い直していく。 (※対象：中学生以上)	○	○※	90	准教授 山岡 健次郎
106	国際紛争を平和的に解決する一法による紛争解決を中心に	領域、貿易、環境、海洋、武力紛争、国際犯罪等、国際社会には様々な問題がありますが、これらを武力を用いることなく、法によって平和的に解決するための制度が存在しています。そのような国際紛争を解決するための国際法の役割を紹介します。 (対象：高校生以上)	○	○※	90	講師 鈴木 悠
107	国際社会から考える「人権」	「人権」は、人間が生まれながらにして、国や人種に関係なく、誰もが持っているものとされています。同時に、時代や文化に影響されるものであり、「人権」は多様な考え方を内包しています。国際社会の基準で「人権」について考える機会を提供します。 (対象：高校生以上)	○	○※	90	
108	「グローバル」について考えよう	日本で長く英語を教えてきた外国人研究員が共通認識や提言等も含め、「日本」について話します。授業は英文資料や映像を使って、双方向型の授業スタイルで行います。全て英語による講義です。	○	○	90	外国語教育研究所研究員
109	ドクターYの超歴史!!	なぜ歴史を学ぶのでしょうか。ドクターYこと歴史家・築瀬大輔教授が開発した「スーパースキム」と「レキメーター指数」を駆使してあなたを歴史理論の世界に誘います。するとあなたは、歴史とは「ある=Be History」ものではなく「する=Do History」ものだということを発見するでしょう。そして、そのことに気づいたとき、あなたの心に自分と人を尊ぶ気持ちが生まれ、そしてあなたの体に未来を想像する意欲と力が湧いてくることでしょう。それが「超歴史」です。 (※小学6年生以上)	○	○※	90	教授 築瀬 大輔

(2) 県民健康科学大学

番号	テーマ	内容	対象			時間(分)	説明者
			一般	子ども	高齢者		
1	【健康寿命延伸プログラム】いざという時のために知って備える心肺蘇生法	いざという時に慌てず対処できるよう心肺蘇生の方法や体外式除細動器(AED)の使用法についての基本的な知識や技術についてお伝えします。(実技体験あり、初心者の方の方が対象です)	○			60	准教授 橋本 晴美 講師 丸澤 遊
2	【健康寿命延伸プログラム】「はたらく人のストレス—からだの声を聴く—」	はたらく人がどのようなときにストレスを感じやすいのか、その仕組みを知ることで各人に合った対処方法を考えます。また、人間関係の振り返りに有効なプロセスレコードの使い方を紹介します。	○			60~80	講師 垣上 正裕
3	【健康寿命延伸プログラム】生活習慣病の予防と対応策	糖尿病、高血圧、高脂血症などに代表される生活習慣病の発症やコントロールには、日頃の生活習慣が大きく影響します。生活習慣病を予防し、また管理していくための知識と対策を一緒に考えていきましょう。	○			60	教授 廣瀬 規代美 講師 浅見 優子 助教 久保田 好美
4	【健康寿命延伸プログラム】血液や血管と生活習慣の話	血液と血管は健康のバロメーター。体やこころを健やかに保つための生活習慣についてお話します。(人数の上限はありませんが、20名程度以下でしたら体験型の内容を含めることも可能です。ご相談に応じます)	○		○	60~90	講師 大澤 康子 高橋 美穂子
5	家庭で活かす看護技術「身体特性(ポディメカニクス)を活かして看護する」	身体特性(ポディメカニクス)を活かした技術を用いることにより、小さな力で大きな効果をあげられるだけでなく、看護をする人の腰痛なども予防できます。自分では動けない人の体位を変える技術を通してその仕組みと実際を紹介します。(準備の都合上会場は、県民健康科学大学となりますが、ご相談に応じます)	○		○	90	講師 佐藤 正樹
6	家庭で活かす看護技術「床ずれを予防するための工夫」	床ずれを予防するためには、まず、その原因を理解する必要があります。床ずれの原因とご家庭でも簡単にできる予防方法、床ずれができてしまったときの処置方法を説明します。	○		○	60	教授 山下 暢子
7	訪問看護って何?—病気があっても家で暮らすには—	訪問看護は、看護師等が自宅を療養している人の居宅を訪問し、かかりつけ医の指示に基づいて看護を提供することです。長く入院することが難しい現在において、病気があってもできるだけ家で生活するためにはどんな方法があるのか説明いたします(訪問看護ステーション管理者からも具体的なお話をします)。オンラインでも対応いたします。	○		○	60	准教授 清水 裕子
8	畳の上で逝きたい—訪問看護師ができること—	「終活」「エンディングノート」など自分の人生をどう生きるか、ということが話題になる時代になりました。「病気があっても家で過ごし、自分らしく生きたい」。そのために訪問看護師がお手伝いできることを説明いたします。(訪問看護ステーション管理者からも具体的なお話をします)。オンラインでも対応いたします。	○		○	60	

9	【健康寿命延伸プログラム】高齢者に多い入浴の事故	湯に浸かって入浴する方法は、日本人の伝統的な文化といえます。しかし、人口の高齢化が進み、入浴事故は圧倒的に高齢者に多いことがわかってきました。安全で快適な入浴について考えてみましょう。	○	○	60~90	准教授 大川 美千代 講師 高橋 美穂子
10	【健康寿命延伸プログラム】転倒予防にむけた身体づくり「転倒予防体操を学ぼう」	いつまでも自分の足で活動的な生活が出来るように、転倒予防に向けた生活の工夫や足のお手入れ方法についてお話しします。また、毎日の生活に取り入れることの出来る転倒予防体操を紹介し、一緒に体験してみましよう。(45人程度を上限とします)			90	
11	【健康寿命延伸プログラム】「美味しく食べる」を支える健口体操を学ぼう	いつまでも自分の口で食事を楽しむことが出来るように、誤嚥や肺炎予防に向けた口腔ケア、飲み込みに必要な筋肉を鍛える体操などを紹介します。一緒に体験してみましよう。(45人程度を上限とします)			60~90	講師 樋口 友紀 福島 昌子
12	【健康寿命延伸プログラム】手・足・口を使った頭の体操で脳を活性化しよう!	認知症は年を重ねれば誰にでも起こりうるとても身近な病気です。少しでも認知症の発症時期を遅らせることが出来るように、生活における工夫点をお話しし、手足口を使ったゲームなどを通して一緒に頭の体操をしませんか?(30人程度を上限とします)			90	
13	【健康寿命延伸プログラム】体に痛みのあるときの生活の工夫	慢性的な体の痛みとともに生活している人に対し、痛みが続いている時にどのようなこと気をつけて生活したら良いかを見つけ出すためのお手伝いをいたします。			60	教授 高井 ゆかり
14	妊娠期から生後1歳頃までの子育て	新たにお子さんを迎えるご夫婦や家族、子育て支援者を対象に、親になるための準備や育児技術、胎児の能力と発達、出生後~1歳頃までの発達と育児、周囲の方からのサポート、手作りのおもちゃ、育児期の心理面などについてもお話しします。(20人程度を上限とします)	○	○	60	教授 行田 智子 助教 塩澤 麻子
15	赤ちゃんとのふれあい、ベビータッチングケア	生後2~7ヶ月頃(1歳未満まで可)の赤ちゃんへのベビータッチングケア(ベビーマッサージ)の仕方をお話しします。ケアは15分くらいです。赤ちゃんと一緒に楽しむときを過ごしたり、育児の相談もしたりしませんか。	○	○	60	
16	【健康寿命延伸プログラム】子どもの事故防止	子どもの死因の上位に「不慮の事故」があります。子どもの安全を守り、健やかな発達を支援するためには、子どもの物事の理解のしかたに関する知識が助けになります。発達理論や研究成果を用いてお話しします。また、演習を通して日常的に遭遇しやすい事故について一緒に考えていきましょう。	○		60	教授 横山 京子 講師 富永 明子 久保 仁美
17	【健康寿命延伸プログラム】「生理(月経)」と上手に付き合おう	毎月の生理(月経)を憂うつな気分でも過ごしていませんか?職場や学校で困っていることはありませんか?月経は女性の健康のバロメーターでもあります。少しでも、月経中の生活を快適に過ごすためのヒントをお話しします。また、月経のメカニズムや月経による女性の心理変化についてもお話ししますので、男性でも参加していただけます。(30人程度を上限とします。)(※内容は対象に合わせます。)	○	○※	45~90	講師 生方 尚絵 (助産師)
18	【健康寿命延伸プログラム】乳がんのおつきあい—子どもとの療養生活に向けて—	乳がんは早期発見できれば、治療法の選択肢が増え、患者自身が主体的に治療法を選択できます。早期発見のための検診、セルフチェック、治療法、手術後のフォロー、子どもとの療養生活に向けた対応までを含めた情報を提供します。	○		60	教授 廣瀬 規代美 飯田 苗恵 助教 久保田 好美
19	【健康寿命延伸プログラム】できもの腫れもの~良性?悪性??~	ある日ふと、以前はなかったはずの「できもの」に気づいた・・・誰もが「どきっ」と不安を感じる瞬間です。でもその大半は心配ないか、きちんと治療を受ければ完治するものです。本講座では幾つかの「できもの」について取りあげながら、定期的な健診・検診の大切さをご案内します。	○	○	60	教授 瀬川 篤記
20	MRIによる記憶機能検査の点数予測	脳の機能に対してMRIを用いた様々な研究が行われていますが、中でも水の「拡散」の計測や化学物質の濃度を測る技術があります。これらを用いた脳記憶機能予測や、脳年齢予測について紹介します。	○		45~60	教授 佐藤 哲大
21	CT・MRI検査	人体のいろいろな病変がCT検査、MRI検査でどんな画像として描出されるか解説します。	○	○	60	
22	放射線の影響について	病院で行われている種々のX線検査は安全であるのか?、放射線の影響は心配ないのか?、どのくらいの放射線を受けるのか?、このような疑問について放射線防護の考え方を説明し、お答えします。	○	○	90	診療放射線学部 担当教員
23	身近な放射線	放射線に対して興味や疑問をお持ちではないでしょうか。良きにつけ悪しきにつけ、欠く事のできない放射線について科学的諸特性や測り方および利用方法についてお話しします。放射線について正しい知識を持っていただき、放射線利用の世界を覗いていただきたいと思います。	○	○	60~90	
24	最新放射線画像操作技術 脳波や視線やジェスチャーで操作する	画面を大きくしたいなど考えると画面が大きくなったり、見たいところだけ見やすく表示させたり、瞬きでページめくりができる医用画像表示装置を作成しました。一般のパソコンやスマホにも応用できそうです。(平日6時以降希望)	○	○	60	教授 小倉 敏裕
25	うっかりミスはなぜ起きる	身近な事例紹介や、実際にうっかりミス体験していただき、そのメカニズムや防止策についてお話しします。内容の都合上、90分以上の時間があると体験から防止策まで十分にお話し可能です。(※対象:中学生以上)(説明は五十嵐または瀬川のいずれかが行いますが、教員を指定することはできません)	○	○※	60~120	准教授 五十嵐 博 (教授 瀬川 篤記)
26	環境中の放射線(能)	2011年に起きた福島第一原子力発電所の水素爆発事故以来、群馬県を中心に放射線量およびセシウム濃度に関する調査を行ってきました。群馬県およびその隣接県、伊豆大島などのデータを公開しながら、環境中の放射線(能)について説明します。	○		60~90	准教授 杉野 雅人

27	放射線被ばくの無いMRI検査とは	画像診断の1つであるMRI(磁気共鳴画像)について原理から検査までを、わかりやすく解説いたします。磁石の力をどのように利用しているのか?またMRI検査でどのような病気がわかるのか?そして検査を受ける際に注意すべきことなどを解説いたします。	○	○	○	30~60	教授 林 則夫
28	身近で受けられる高精度放射線治療	がん放射線治療における技術及び機器は大きく進歩し、強度変調放射線治療、粒子線治療等の高精度治療により、治療成績の向上が実現しています。最新放射線治療機器と技術について解説します。	○	○	○	60	教授 佐々木 浩二
29	【健康寿命延伸プログラム】元気にいきいき生活するために!	毎日いきいき生活するためには、「からだ」だけではなく「こころ」も元気でいることが大切です。健康に関するお話と、軽い運動やリラクゼーション法、笑いヨガなどから1つを一緒に体験します。	○	○	○	60	講師 鈴木 恵理 高橋 美穂子
30	「がんとともに生きる」を支える～がん看護専門看護師の役割	病院でがん看護専門看護師として働いた経験をもとに、がんと向き合う患者さん、ご家族に対する看護について、お話しします(内容は対象に合わせます)。オンラインでも対応いたします。	○	○	○	60	准教授 清水裕子
31	【がん教育】がんについて知ろう	全国の小中高校でのがん教育が推進されています。小中高校の児童・生徒には年齢に合わせてグループワークを取り入れながらがんについて、がんとともに生きる方たちへの理解が育まれるよう話します。がん教育を今後実施していく先生方には、がんについて情報提供し、がん教育を実施していく上での悩みを先生方と共有し、子どもへのがん教育を実践していくお手伝いをします。	○	○	○	40~90	准教授 清水 裕子 助教 久保田 好美
32	医学物理と医療統計を理解するために必要な一般数学	がん放射線治療において医学物理学や医療統計学の考えが必要となる場合があります。これらは中学数学や高校数学が土台となります。学校で勉強している、あるいは既に勉強した数学が医学物理学や医療統計学にどのように役立つかについてお話しします。(※対象と内容をご相談ください。)	○	○	○	60	助教 津野 隼人
33	怒り・イライラに振り回されない子育て	不必要に子どもを怒りすぎてしまったり、反射的に子どもを怒鳴りつけてしまったりしたことはないですか?子育てに役立つアンガーマネジメント(怒りの感情と上手に付き合う心理トレーニング)についてお伝えします。	○	○	○	60	講師 島田 葉子

(新)

連絡先

名称	電話番号	FAX番号	メールアドレス
渋川保健福祉事務所	0279-22-4166	0279-24-3542	shibuhofuku@pref.gunma.lg.jp
伊勢崎保健福祉事務所	0270-25-5066	0270-24-8842	isehofuku@pref.gunma.lg.jp
安中保健福祉事務所	027-381-0345	027-382-6366	anhofuku@pref.gunma.lg.jp
藤岡保健福祉事務所	0274-22-1420	0274-22-3149	fujihofuku@pref.gunma.lg.jp
富岡保健福祉事務所	0274-62-1541	0274-64-2397	tomihofuku@pref.gunma.lg.jp
吾妻保健福祉事務所	0279-75-3303	0279-75-6091	agahofuku-kifukusi@pref.gunma.lg.jp
利根沼田保健福祉事務所	0278-23-2185	0278-22-4479	tonehofuku-kifukusi@pref.gunma.lg.jp
太田保健福祉事務所	0276-31-8241	0276-31-8349	ootahofuku-kifukusi@pref.gunma.lg.jp
桐生保健福祉事務所	0277-53-4131	0277-52-1572	kirihofuku@pref.gunma.lg.jp
館林保健福祉事務所	0276-72-3230	0276-72-4628	tatehofuku@pref.gunma.lg.jp
中央児童相談所	027-261-1000	027-261-7333	chuuji@pref.gunma.lg.jp
北部児童相談所	0279-20-1010	0279-22-2277	hokubuji@pref.gunma.lg.jp
西部児童相談所	027-322-2498	027-322-5602	nishijisou@pref.gunma.lg.jp
東部児童相談所	0276-57-6111	0276-57-6175	toujisou@pref.gunma.lg.jp
こころの健康センター	027-263-1166	027-261-9912	kokoro@pref.gunma.lg.jp
食品安全検査センター	027-234-5256	027-234-8438	shokukensa@pref.gunma.lg.jp
動物愛護センター	0270-75-1718	0270-65-3379	aigosen@pref.gunma.lg.jp

名称	電話番号	FAX番号	メールアドレス
渋川森林事務所	0279-22-2763	0279-25-0576	shibushin@pref.gunma.lg.jp
西部環境森林事務所	027-323-4021	027-323-6908	seikan@pref.gunma.lg.jp
藤岡森林事務所	0274-22-2253	0274-24-4976	fujishin@pref.gunma.lg.jp
富岡森林事務所	0274-62-1535	0274-63-7099	tomishin@pref.gunma.lg.jp
吾妻環境森林事務所	0279-75-4611	0279-75-6548	agakan@pref.gunma.lg.jp
利根沼田環境森林事務所	0278-22-4481	0278-23-0409	tonekan@pref.gunma.lg.jp
桐生森林事務所	0277-52-7373	0277-54-5132	kirishin@pref.gunma.lg.jp